

神戸市立博物館年報

令和 2 年度 No.37



目 次

事業概要(令和2年度)	2
展示・普及活動	
1. 特別展	
(1) 第137回特別展 和のガラス—暮らしを彩ったびいどろ、ぎやまん	3
(2) 第138回特別展 つなぐ TSUNAGU—THE POWER OF KOBE CITY MUSEUM	10
(3) 第139回特別展 和田岬砲台史跡指定100年記念 大阪湾の防備と台場展	18
(4) 【開催中止】兵庫の書展 兵庫県書作家協会創立70周年記念—2020 令和からの発信—	26
(5) 【開催中止】開港5都市歴史展	27
(6) 【開催中止】ボストン美術館展 芸術×力	28
2. 企画展	
神戸源平巡り—『平家物語』の舞台を訪ねて—	29
3. 常設展示	
(1) 神戸の歴史展示	31
(2) 地域文化財展示室	37
(3) コレクション展示	41
4. 普及事業	
(1) 一般向け事業	48
(2) 子供向け・学校連携事業	50
(3) 学習支援交流員活動	51
(4) 共催・協力事業	53
5. 刊行物	54
収蔵資料	
1. 指定文化財一覧	55
2. 受贈資料	56
3. 購入資料	56
4. 資料補修	56
5. 資料の利用	
(1) 特別利用 館外貸出	57
(2) 特別利用 その他	58
(3) 画像利用	58
(4) 画像提供業務	59
入館者数	
1. 年間入館者数	60
2. 年齢層・階層別	60
3. 特別展	61
予算	63
博物館協議会	63
組織・職員	64

事業概要

令和2年度の事業報告として、神戸市立博物館年報第37号を発行いたします。

本年度は、全世界が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、当館のみならず、文化施設にとっても、事業の中止、延期、内容変更が相次ぎ、来館者も減少する厳しい年となりました。年度終わりに至ってもなお、感染収束の気配は見えておりません。

当館も、緊急事態宣言の発令をうけ、令和2年4月9日から5月18日まで臨時休館しました。前年度末の令和2年3月28日から、6月21日まで開催予定であった特別展「コートールド美術館展 魅惑の印象派」は作品展示・記者内覧会を終えたにもかかわらずついに一般公開されることはなく、「兵庫の書展 兵庫県書作家協会創立70周年記念—2020 令和からの発信—」「開港五都市歴史展」「ボストン美術館展 芸術×力」の3つの特別展が中止を余儀なくされました。

再開館については、緊急事態宣言延長中の5月19日に、消毒液の設置や検温の導入、ハンズオン展示や体験学習室などの利用制限などの対策を講じたうえで、常設展示より行いました。そして、10月3日よりようやく、当初は7月23日から開催予定であった特別展「和のガラス—くらしを彩ったびいどろ、ぎやまん」を開催することができました。

特別展「つなぐ TSUNAGU—THE POWER OF KOBE CITY MUSEUM」は、上記の特別展中止に伴い急遽企画した展覧会で、新型コロナウイルス感染症による外出自粛等が続く中で、失われた「つながり」について博物館資料を媒介に考える、時勢に即した内容となりました。

特別展「つなぐ」及び同「和田岬砲台史跡指定100年記念 大阪湾の防備と台場展」は、会期中に2回目の緊急事態宣言が発令され、関連事業の一部が中止・延期になったものの、ほぼ予定通り開催することができました。

また、当館の館蔵品や神戸ゆかりの文化財を展示する企画展として、「神戸源平巡り—『平家物語』の舞台を訪ねて—」を開催しました。

普及事業では、一般向け事業として「ミュージアム講座」、「学芸員と神戸を巡る」を、子供向け事業として「ジュニアミュージアム講座」、「こうべ歴史たんけん隊」を、いずれも例年より定員を減らして開催しました。一方で、当初企画していた「博物館をたのしむ」、「夏休み土器づくり教室」「博物館たんけん隊」を、感染リスク軽減の観点から中止し、感染者が増えた時期においては、連携授業やイブニング・レクチャー、ギャラリートークなども一時中止しました。

令和2年度の開館日数は233日で、うち特別展は119日でした。総入館者数は44,619人、内訳は、コレクション展示10,101人、特別展16,747人です。

学校授業への職員派遣は62校（幼保1、小60、中1）100回288時間（幼保1、小227、中8）7,879人で、前年度と比較して大幅に減少しました。

館外貸出は5箇所64件64点、特別利用（館外貸出以外）は19件308点、画像利用は169件441点、画像提供業務委託は431件729点でした。

この年報により、令和2年度の当館の事業概要をご理解いただければ、幸いに存じます。

1. 特別展

(1) 第 137 回特別展

和（なごみ）のガラス

—くらしを彩ったびいどろ、ぎやまん

・内容

現在の私たちが生活する中で、ごく当たり前の存在となっている「ガラス」。日本で本格的に製造が始まったのは 17 世紀半ば頃とされる。江戸時代から明治時代の日本製のガラス—和ガラスは、当時“びいどろ”、“ぎやまん”と呼ばれていた。限られた情報の中で発展した日本のガラス製造技術において、“びいどろ”、“ぎやまん”にはかたちのゆがみや透明度が低く、青や黄色味を帯びたガラス器が少なくない。これらの和ガラスがもつ素朴で、自然な造形は、私たちの心を惹き付けるものといえる。

本展は、当館のびいどろ史料庫コレクションを中心に、江戸時代から明治時代の人々のくらしを彩った 161 件の“びいどろ”、“ぎやまん”を展観。箱書きや文献資料を読み解くことで、当時の人々がどのようにガラスを味わい、楽しんでいたのかを浮き彫りにした。素朴さや穏やかさといった特色をもち、見るものを和ませる、和ガラスの魅力に触れる機会となった。

- ・会期：令和 2 年（2020）年 10 月 3 日（土）～11 月 23 日（月・祝） 45 日間
- ・会場：南蛮美術館室、特別展示室 2
- ・主催：神戸市立博物館、読売新聞社
- ・後援：NHK 神戸放送局、Kiss FM KOBE
- ・協賛：一般財団法人みなと銀行文化振興財団、公益財団法人日本教育公務員弘済会兵庫支部
- ・入場料：当日・一般 1,000 円（団体 800 円）
- ・入場者数：8,789 人
- ・出品件数：161 件 ※出品目録は[当館ホームページ](#)に掲載
- ・関連事業：p.58 に掲載

Japanese Glass of Relief

"Bidoro" and "Giyaman" colored our lives

和なごみのガラス



くらしを彩った //
びいどろ、
ぎやまん //



会期 2020年10/3 土 ~ 11/23 月・祝

休館日：毎週月曜日 ※但し、11月23日（月・祝）は開館
開館時間：10時～18時 ※金曜日は20時、土曜日は21時まで開館 ※入場は閉館30分前まで

会場 神戸市立博物館（〒650-0034 神戸市中央区京町24番地）2階 南蛮美術館室、特別展示室2
入場料 一般1,000円（団体800円） 大学生500円（団体400円） 市内在住の65歳以上の方500円
※高校生以下無料 その他減免については当館HP等をご確認ください

主催：神戸市立博物館、読売新聞社 後援：NHK神戸放送局、Kiss FM KOBE
協賛：一般財団法人 みなと銀行文化振興財団、公益財団法人 日本教育公務員弘済会 兵庫支部

上から「手廻りガラス平鉢」神戸市立博物館、「切物糸を文のガラス菓子箱」福原文庫、「手廻り織物の子書箱」森田文庫、
「ガラス製」神戸市立博物館、「びいどろ」神戸市立博物館、「ぎやまん」神戸市立博物館、「手廻り」神戸市立博物館、
「手廻り」神戸市立博物館、「手廻り」神戸市立博物館、神戸市立博物館、神戸市立博物館、神戸市立博物館、神戸市立博物館

神戸市立博物館
Kobe City Museum

※本展の制作・デザインは概ね完成済みで、複製や再販はご遠慮ください。また、本展の制作・デザインは概ね完成済みで、複製や再販はご遠慮ください。また、本展の制作・デザインは概ね完成済みで、複製や再販はご遠慮ください。

B2 ポスター



図録表紙・裏表紙



こどものための鑑賞ガイド

Glassware of Relief
Coloring the living Bidorō, Giyaman

和なごみのガラス



会期 2020年7/23 木・祝 ~ 9/22 火・祝 休館日:月曜日、8月11日(火) 開館時間:10時~18時

※ただし全曜日は20時、土曜日は21時まで開館 ※入館は閉館30分前まで ※ただし8月10日(月・祝)、9月21日(月・祝)は開館

会場 神戸市立博物館(〒650-0034 神戸市中央区京町24番地)2階 南蛮美術館室、特別展示室2
主催:神戸市立博物館、読売新聞社 後援:NHK神戸放送局、Kiss FM KOBE
協賛:一般財団法人 みなと銀行文化振興財団 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 兵庫支部

神戸市立博物館
Kobe City Museum

ちらし 表



和のガラス

Japanese Glass of Relief

"Biidoro" and "Giyaman" colored our lives



手彫り薩摩切子紫を彩ったガラス壺
（個人蔵）



手彫り切子を彩ったアイストカット細作ガラス杯
（東映文庫）

当時の人々がどのようにガラスを味わい、楽しみ、今日まで伝えたのかを、深き彫りにするものです。見るものを和ませ、素朴さや温もり、優しさに満ちた和ガラス—その魅力を伝えます。



肌取を施した緑色ガラス壺
（神戸市立博物館蔵）



手彫り切子のガラス眼鏡
（神戸市立博物館蔵）



青黄色を彩ったガラス壺
（神戸市立博物館蔵）

関連イベント

記念講演会「和のびいどろ、ぎやまん」

講師：中山 創太（神戸市立博物館 学芸員）

日時 ①10月4日（日） ②11月8日（日）
いずれも14時～15時（開場13時30分） ※各日同じ内容です。

会場 地階 講堂 参加費 500円

各日定員40名（応募者多数の場合は抽選）、
往復葉書による事前申込が必要です。

※本展観覧券、ならびに返信葉書が必要です。
随講時の座席は指定となります。返信葉書にてご連絡いたします。

講座「和ガラスに親しむ」

実物資料を用いながら、江戸時代の和ガラスに親しみます。

日時 ③10月18日（日） ④11月15日（日）
いずれも14時～15時（開場13時45分） ※各日同じ内容です。

会場 1階 体験学習室 参加費 500円

各日定員5名（応募者多数の場合は抽選）、
往復葉書による事前申込が必要です。

※本展観覧券、ならびに返信葉書が必要です。

イブニング・レクチャー （学芸員によるみどころ解説）

日時 会期中の毎週土曜日
17時～17時30分（開場16時30分）

会場 地階 講堂 各日定員40名
※当日先着順

参加費 無料
（参加には本展の当日観覧券が必要です。）

子供向けイベント ジュニアミュージアム講座

「ガラスの器に描く薩摩切子の模様」

日時 10月25日（日）10時30分～12時30分

会場 地階 考古学習室 対象 小学4年生から中学生

参加費 500円（付き添いの方は、団体割引料金で「和のガラス」展を観覧していただけます）

定員15名（応募者多数の場合は抽選）

【申込方法】

往復葉書に参加希望日、参加希望者の名前、年齢、電話番号、返信用の宛名を記入し、「神戸市立博物館 和のガラス展イベント係」まで送付ください。1枚の葉書で1名様のみ応募いただけます。1枚の葉書で、複数のイベント・日程に応募することはできません。

申込締切

①9月18日（金） ②10月23日（金）
③10月2日（金） ④10月30日（金）消印有効。

【申込方法】

往復葉書に参加希望者・付き添いの方の名前、年齢、電話番号、返信用の宛名を記入し、「神戸市立博物館 ジュニアミュージアム講座係」まで送付ください。1枚の葉書で3名様（参加者のみ、付き添いは子供1名に対し1名まで可能）まで応募いただけます。

申込締切 10月9日（金）消印有効。

入場料 一般1,000円（団体800円）
大学生500円（団体400円）※高校生以下無料

※団体は20人以上／満65歳以上で神戸市在住の方は当館券売窓口にて証明書の提示で当日一般料金が半額、障がいのある方は障がい者手帳などの提示で無料

※今後の新型コロナウイルス感染状況を踏まえて、展覧会の中止、ならびに関連イベントを中止させていただく場合がございます。随時、当館のHPならびに公式Twitter・Facebookにてお知らせいたしますので、ご来館の際は最新情報をご確認ください。楽しみにして下さっている皆様には申し訳ありませんが、予めご了承のほどお願いいたします。

神戸市立博物館
Kobe City Museum

- JR「三宮」駅、阪急・阪神「神戸三宮」駅
神戸市営地下鉄（西神・山手線）、ポートライナー「三宮」駅から徒歩約10分
- JR、阪神「元町」駅から南東へ徒歩約10分
- 神戸市営地下鉄（海岸線）「旧居留地・大丸駅」駅から南東へ徒歩約8分
- 新幹線「新神戸」駅から神戸市営地下鉄（西神・山手線）に乗換え、「三宮」駅下車
- 神戸空港からポートライナーで「三宮」駅下車
※博物館には駐車場がありません。お近くの有料駐車場をご利用ください。

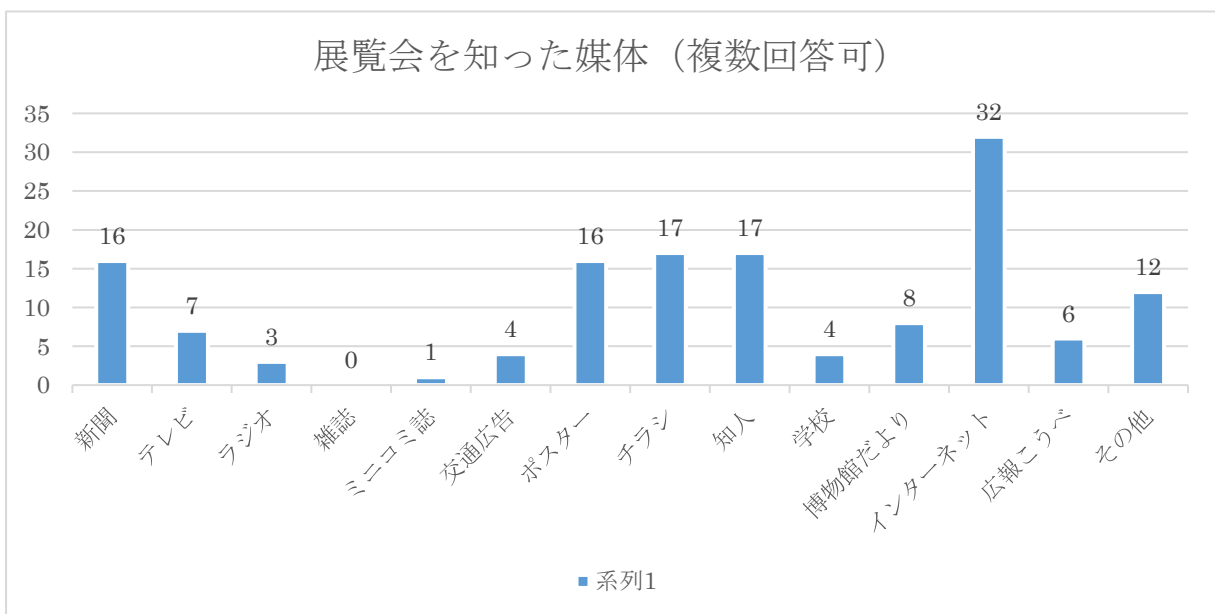
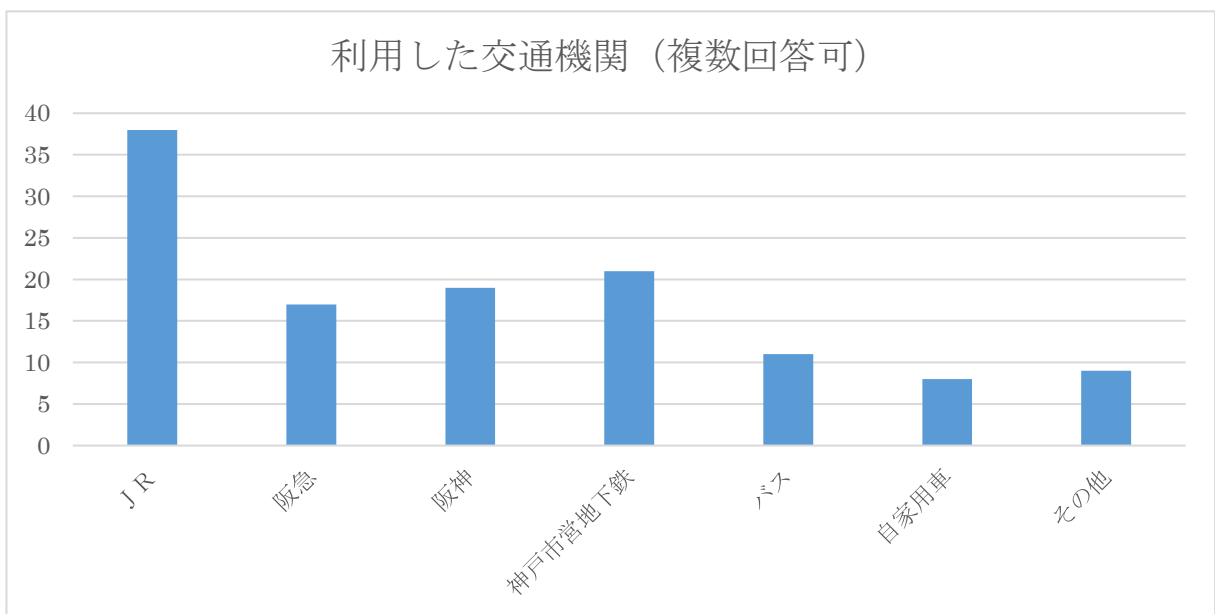
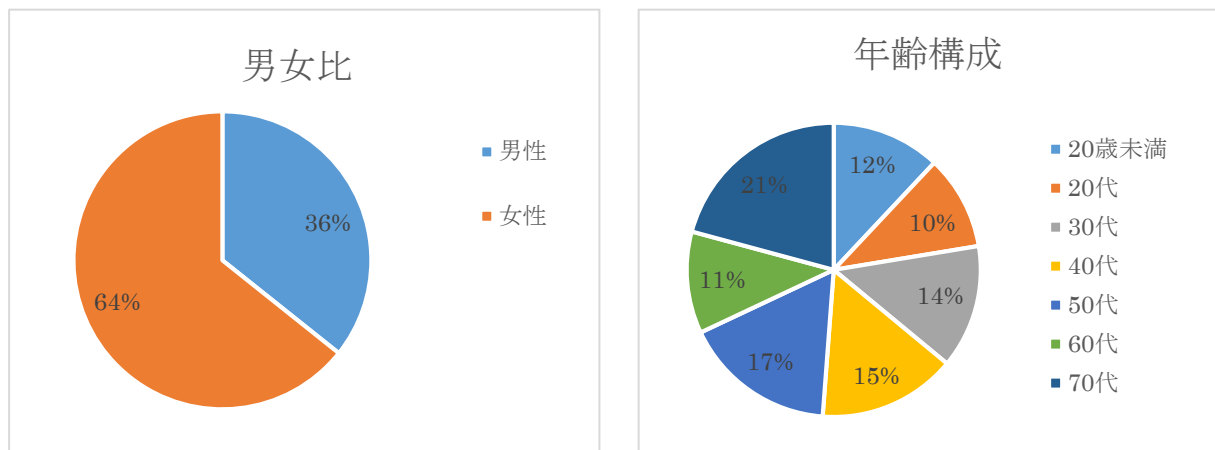
神戸市立博物館 〒650-0034 神戸市中央区南町24番地
TEL 078-391-0035 FAX 078-392-7054
https://www.kobecitymuseum.jp

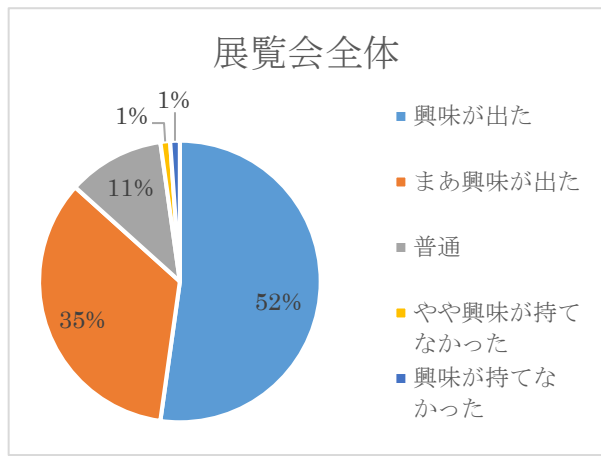
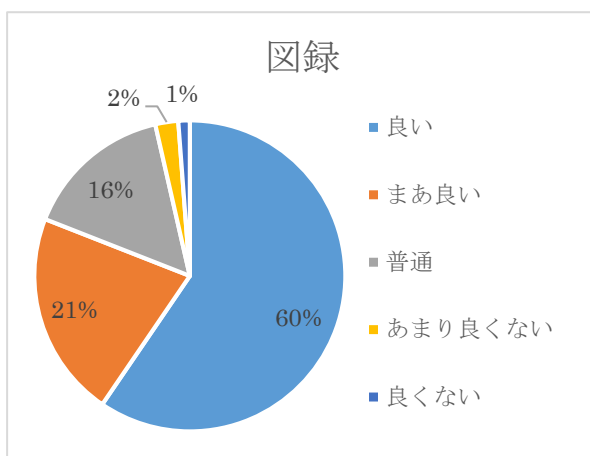
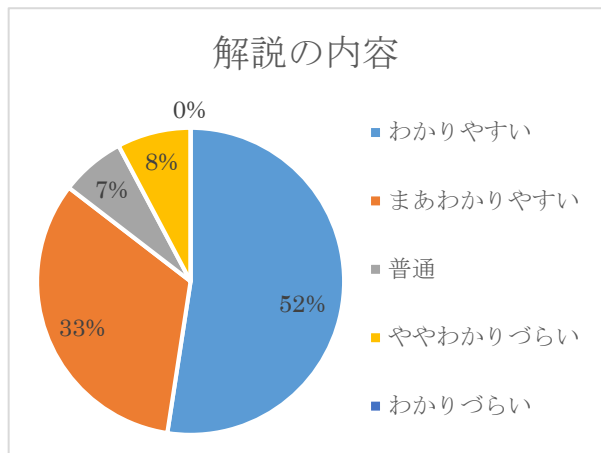
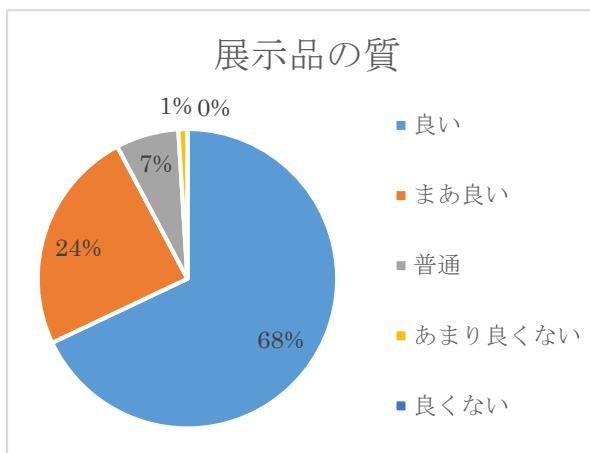
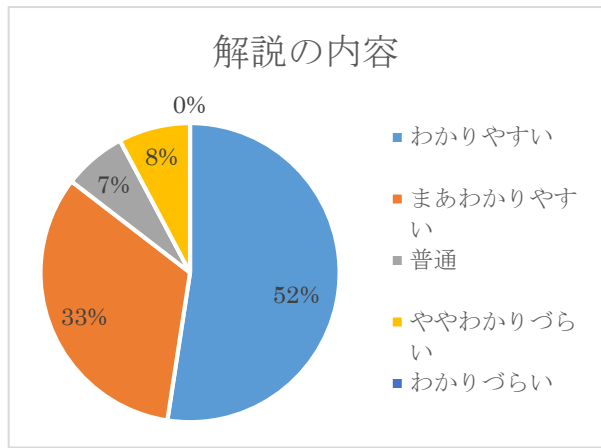
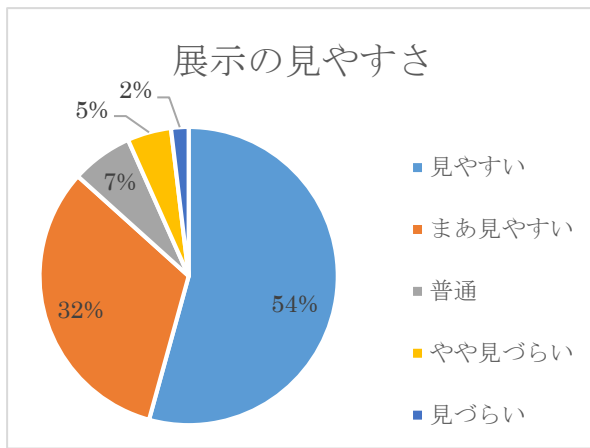
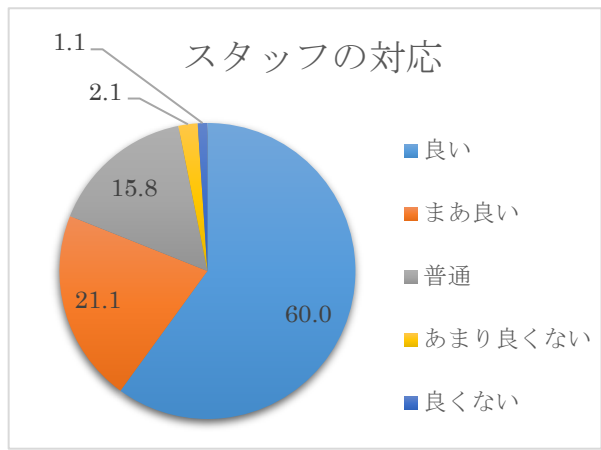
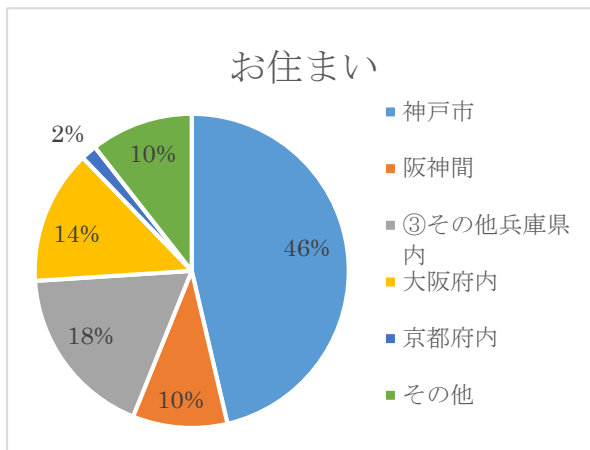
公式Twitter-Facebook @kobemuseum



アンケートの結果（回答者：127人）

アンケート方法：展覧会期間中、観覧を終えた希望者による用紙記入





つなぐ

TSUNAGU—THE POWER OF KOBE CITY MUSEUM

・内 容

新型コロナウイルス感染症拡大後の世界で、失われつつある「つながり」について考え、博物館の役割を見つめなおすことを企図した展覧会。3室の特別展示室、1階ホール、2階回廊と歴史的な価値をもつ博物館全体を使用し、考古・歴史、美術、古地図の多様なコレクションを通して、この世界にある「つながり」を見つめなおし、観覧者と共有することを試みた。

また、ポスト・コロナの博物館を見据え、キャッシュレス決済、予約システムなど新たな管理運営体制を導入した。さらに、博物館と利用者がともに「つながる」ことができる展示や関連事業を既存の対面型に加え、SNS、二次元バーコードなど ICT 技術も活用しながら実施し、市民とともに創り上げていく博物館事業の新規モデルを提示した。

- ・会期：令和 2 年（2020）12 月 5 日（土）～令和 3 年（2021）1 月 24 日（日） 38 日間
- ・会場：特別展示室 1、南蛮美術館室、特別展示室 2、回廊、ホール
- ・主催：神戸市立博物館、神戸新聞社、毎日新聞社
- ・後援：NHK 神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西
- ・協賛：公益財団法人日本教育公務員弘済会兵庫支部
- ・入場料：当日・一般 1,000 円（団体 800 円）
- ・入場者数：3,445 人
- ・出品件数：93 件 ※出品目録は[当館ホームページ](#)に掲載
- ・関連事業：p.58-59 に掲載



TSUNAGU

THE POWER OF KOBE CITY MUSEUM

2020.12.5.sat — 2021.1.24.sun

休館日：毎週月曜日[ただし1月11日(月・祝)は開館] 12月28日(月)～1月4日(月)、1月12日(火)
 開館時間：10時～18時[金曜日は20時、土曜日は21時まで開館] 入場は開館の30分前まで
 入場料：一般1,000円(団体800円) 大学生500円(団体400円) 中高生以下無料
 ※団体は20名以上(新型コロナウイルス感染症対策のため、お客様同士の間隔をあけて、ご入館ください。) / 満員まで神戸市立博物館の定員
 当館を以て説明書の提示で各自一歩料金が半額 / 残りのある方は残りの半額などの提示で無料
 主催：神戸市立博物館、神戸新聞社、毎日新聞社 後援：NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西
 協賛：公益財団法人 日本教育公務員弘済会兵庫支部



事前予約制 本展では、新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のため、入館人数の上限、観覧時間をお知らせいたします。すべてのお席はオンラインによる事前予約が必要となります。予約状況等の詳細は、公式サイト、各展示ホームページ(<https://www.kobecitymuseum.jp/>)にてお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観覧券は紙製から、さらに印刷済観覧券の申込をさせていただきます。観覧券がなくても入館いただけます。新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来館の際は、マスクの着用、手洗いの徹底等にご協力をお願いいたします。

神戸市立博物館 〒650-0004 神戸市中央区東2丁目24番地

ちらし 表



新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、私たちは、当たり前だと思っていた日常がいつも簡単に崩れ去るものだという現実をつきつけられました。出会い、語り、ふれあう。人が生きていく上で欠かすことができない、こころあたまを営みさえもままならない世界が私たちをとりまいています。

しかし、このような社会であるからこそ、私たちは、「つながり」ということについて、今一度、皆さんと一緒に考えてみたいのです。さまざまな時代や地域で生み出された、人々の想いがつまった神戸市立博物館のコレクションや地域に伝来した文化財を通して。

キーワードは、「つなぐ」。過去と未来、視えるものと視えないもの、心と心…コレクションを語り手とする「つなぐ」を巡る6つのストーリー。

博物館と皆さんの新しい物語が、今、始まります。

【展覧会構成と主な展示作品】

- I 過去と未来 PAST AND FUTURE
「過去」と「現在」、そして「未来」へと、人間の意識や感性をダイレクトに「つなぐ」
- II 視えるものと視えないもの VISIBLE AND INVISIBLE
古来人々が求めてきた、見えない世界との「つながり」
- III 場と記憶 PLACE AND MEMORY
物語とイメージによって、ある土地と、そこで育まれてきた記憶を「つなぐ」
- IV 人と世界 HUMAN AND UNIVERSE
「世界はどのような姿をしているのか？」という問いへの答えが、人と、私たちが取り巻く世界を「つなぐ」
- V 人と人 HUMAN AND HUMAN
家族、恋人、友人、師と弟子……「人」と「人」との「つながり」
- VI 心の奥へ DEPTH OF HEART
「心」をあたためてくれる作品の前にただ、たずみましょ



◎頭指定重要文化財
1: ◎狩野内膳「南蛮屏風」 戦山時代、16世紀末期～17世紀初期 / 2: 尾形若定「新仙臺祭図」 寛文9年(1669) / 3: 「後行者番備儀」 室町時代、15世紀 妙法寺蔵 / 4: ◎「聖徳太子二歳像」 鎌倉時代、13世紀～14世紀 善願寺蔵 / 5: 川喜美「花結社」 昭和38年(1963) / 6: ◎三角縁起作佛神絵四神百鬼図「西戎女須古須古号舞」 古墳時代、3世紀 神戸市蔵 / 7: ワン・セ・スラウ・デ・モラエス「O CULTO DO CHÁ」 明治38年(1905) / 所蔵の記載がない作品は当館蔵



事前予約制	【入場料】	一般	大学生
		1,000円 (団体800円)	500円 (団体400円)

※高校生以下無料
※団体は20名以上(新型コロナウイルス感染症対策のため、お客様同士の距離を確保して、ご入館ください) / 団体65名以上は神戸市在住の方の当地産品消費に貢献する旨の案内と特別料金が半額 / 特別料のある場合はお問い合わせください

本展では、新型コロナウイルス感染症予防、拡大防止のため、入場料の半額、観覧券もお持ちの方を求め、すべてのお客様はオンラインによる事前予約が必要となります。予約方法等の詳細は、本展の案内、ホームページ <https://www.kobecitymuseum.jp/> にてお知らせいたします。

関連事業

◎特別講演会「図様でつながる」絵巻(仮称)
12月13日(日) 14時～15時30分(開場13時30分)
講 師: 神戸市外国語大学教授 馬場美氏
会 場: 神戸市立博物館 地階講堂
定 員: 40名(事前申込制、応募多数の場合は抽選)
対 象: 一般(指定席)
参加費: 無料
(ただし、当日お使いいただける特別展観覧券が必要)

◎「学芸員が語る 博物館と阪神淡路大震災」
(震災を経験した学芸員が語るこれからの博物館)
1月17日(日) 14時～16時(開場13時30分)
会 場: 神戸市立博物館 地階講堂
定 員: 40名(事前申込制、応募多数の場合は抽選)
対 象: 一般(指定席)
参加費: 無料
(ただし、当日お使いいただける特別展観覧券が必要)

申込方法:
往復葉書に希望する講座名(「特別講演会」または「学芸員が語る 博物館と阪神淡路大震災」)、参加者のお名前、年齢、電話番号、返信用の宛名を記入し、下記の申込先まで郵送してください。
・1枚の葉書で1名のみ申し込みすることができます。
・1枚の葉書で複数のイベントに申し込むことはできません。
申込締切: 11月20日(金) 消印有効
申込先: 〒650-0034 神戸市中央区京町24番地 神戸市立博物館 つなぐ展関連事業係

◎イブニング・レクチャー(学芸員によるトーク30分)
会期中の毎週土曜 17時～17時30分(開場16時30分)
◎極私的つなぐ展◎学芸員! (学芸員による講演会60分)
12月6日(日)、12月27日(日)、1月10日(日)、1月24日(日)
14時～15時(開場13時30分)
会 場: 神戸市立博物館 地階講堂
定 員: 各日40名(当日先着順)
対 象: 一般(指定席)
参加費: 無料(ただし、当日お使いいただける特別展観覧券が必要)

◎子供向けイベント【ジュニアミュージアム講座】
「うつつをつなごう! 金つぎ? 体験」
12月20日(日) ①10時30分～12時30分(受付10時～) ②14時30分～16時30分(受付14時～)
会 場: 神戸市立博物館 1階体験学習室
定 員: 各回8名(応募多数の場合は抽選)
対 象: 小学4年生～中学3年生
参加費: 500円

申込方法:
往復葉書に「うつつをつなごう! 金つぎ? 体験」、希望時間の番号(①もしくは②)、参加希望者のお名前、年齢、学年、電話番号、返信用の宛名を記入し、下記の申込先まで郵送してください。
・1枚の葉書で本人を含め3名まで申し込みすることができます。その場合、参加希望の子供全員のお名前をご記入ください。
・1枚の葉書で複数のイベントに申し込むことはできません。
申込締切: 11月27日(金) 消印有効
申込先: 〒650-0034 神戸市中央区京町24番地 神戸市立博物館 金つぎ? 体験係



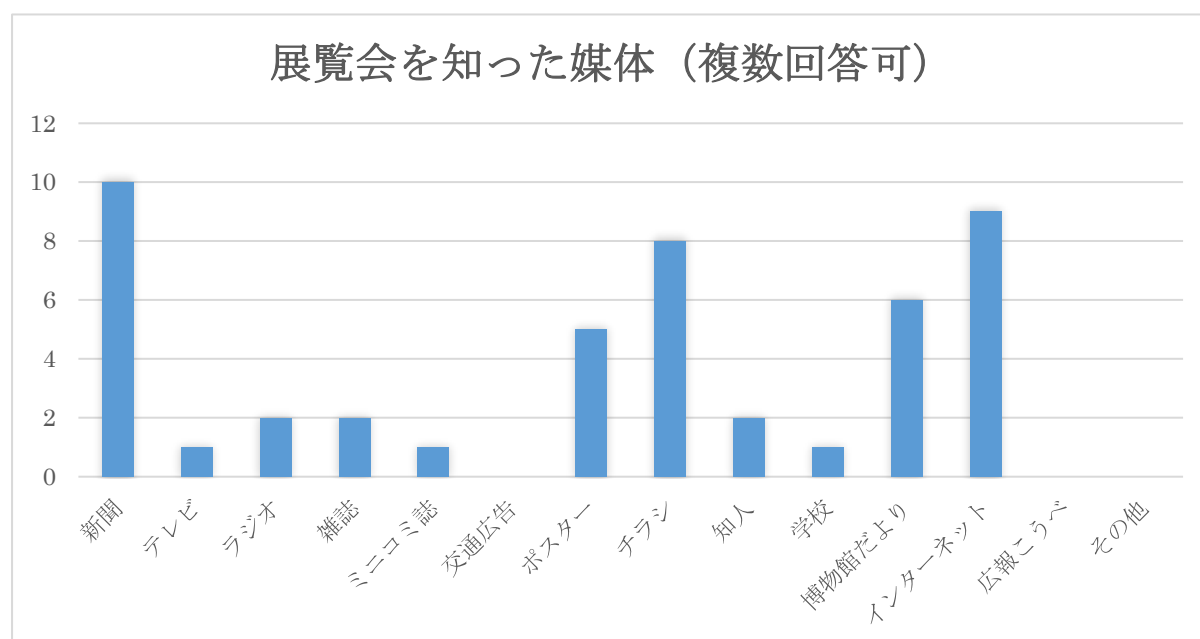
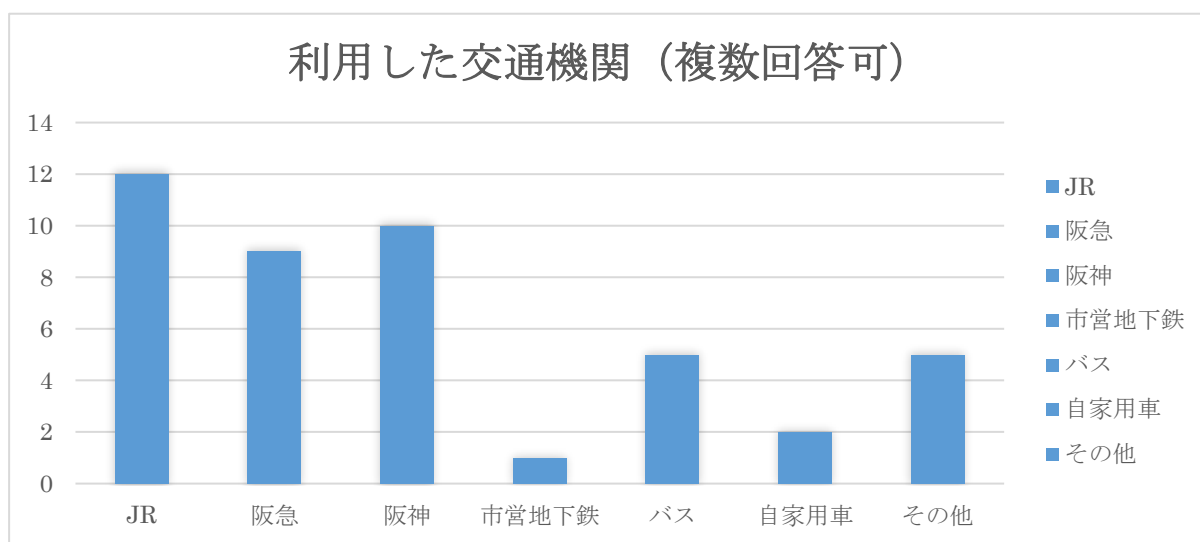
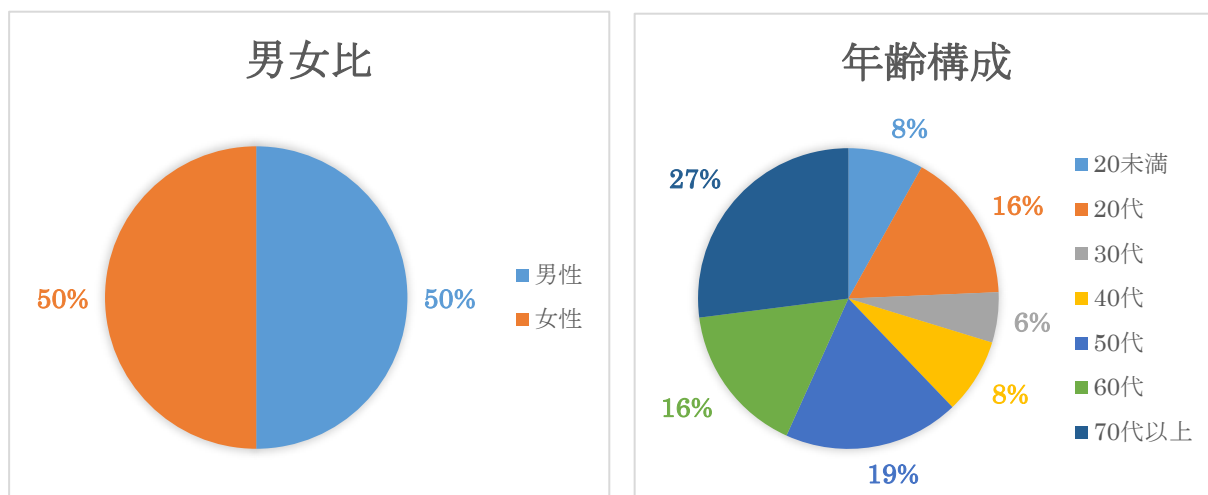
●JR「三宮」駅、阪急「東神戸三宮」駅、神戸市営地下鉄(西神・山手線)水-1ライナー「三宮」駅から南へ徒歩約10分 ●JR 東神戸「元町」駅から南へ徒歩約10分 ●神戸市営地下鉄(海軍線)「旧居留地・大丸前」駅から南へ徒歩約8分 ●東神線「新神戸」駅から神戸市営地下鉄(西神・山手線)に乗り換え、「三宮」駅下車 ●神戸市営地下鉄(ポートライナー)で「三宮」駅下車 ※本館には駐車場がありません。お近くの有料駐車場をご利用ください。

神戸市立博物館
〒650-0034 神戸市中央区京町24番地
Tel. 078-391-0035 Fax. 078-392-7054
<https://www.kobecitymuseum.jp>
神戸市立博物館 公式Twitter: @kobemuseum
公式Facebook: @kobemuseum

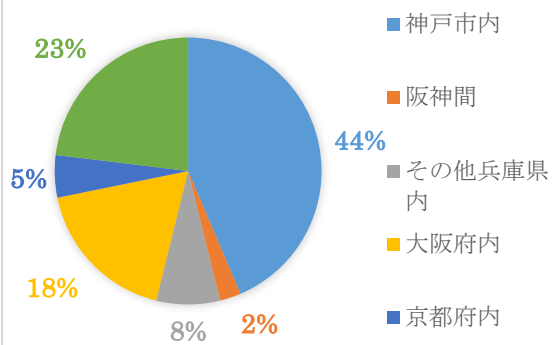
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、展覧会の延期・中止、ならびに関連事業の中止をさせていただく場合がございます。随時、当館ホームページならびに公式Twitter・Facebookにてお知らせいたしますので、ご来館の際は最新情報をご確認ください。 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来館の際は、マスクの着用、検温、手指の消毒等にご協力をお願いします。

アンケートの結果（回答者：40人）

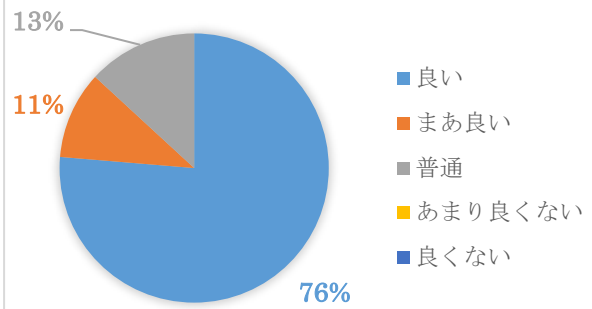
アンケート方法：展覧会期間中、観覧を終えた希望者による用紙記入



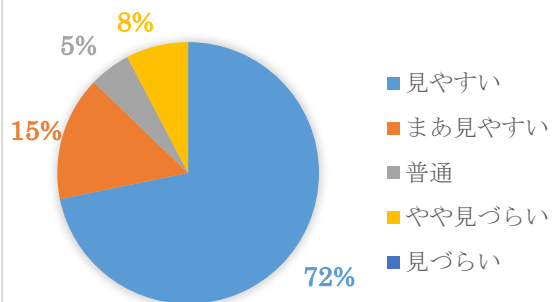
お住まい



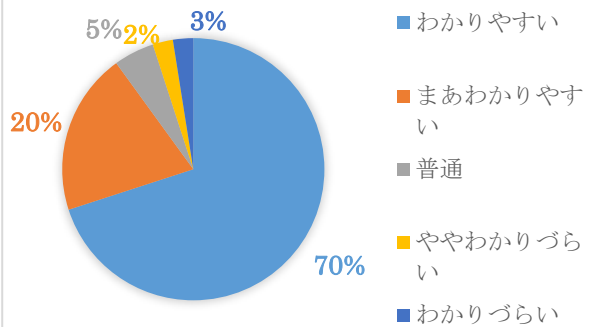
スタッフの対応



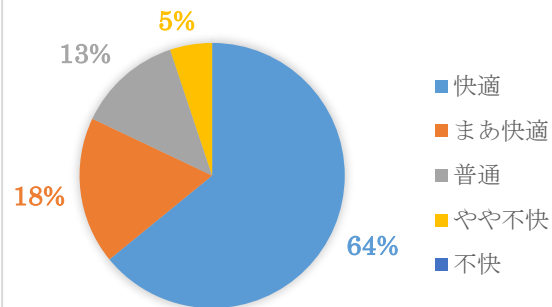
展示の見やすさ



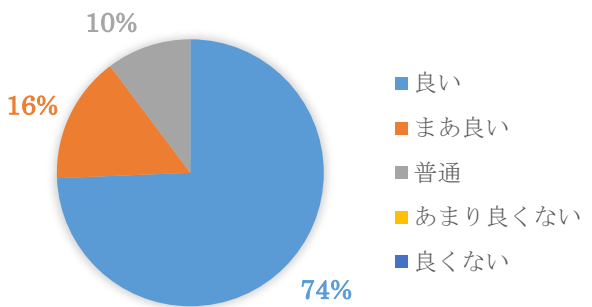
解説のわかりやすさ



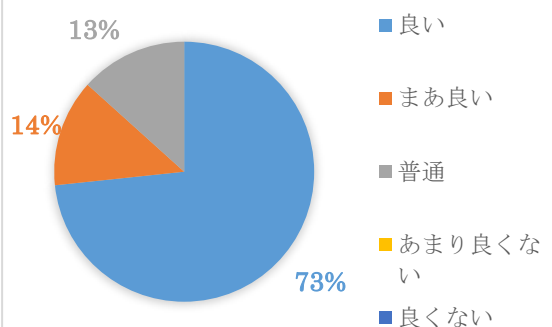
展示室の環境



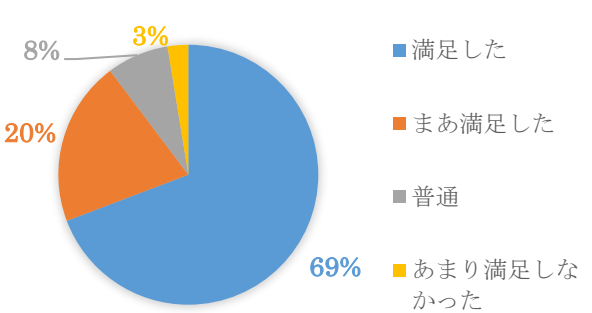
展示品の質



図録



展覧会全体評価



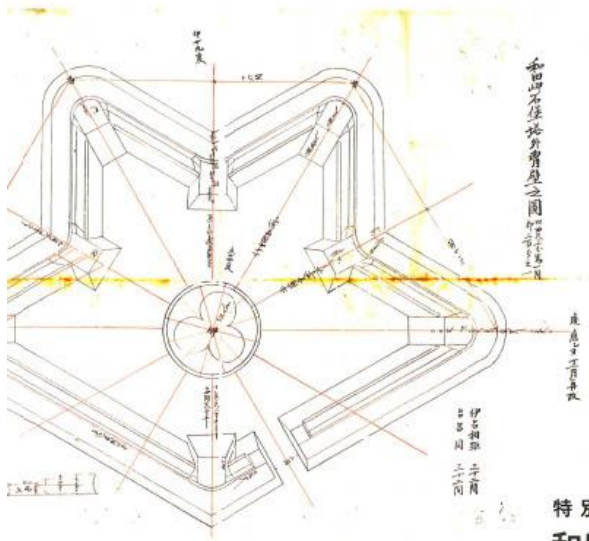
和田岬砲台史跡指定 100 年記念

大阪湾の防備と台場展

・内容

和田岬砲台は、大正 10 年（1921）3 月 3 日、五色塚古墳などとともに兵庫県下では初となる国の史跡に指定された。本展は、その史跡指定 100 年を記念して開催したものである。近年行われた和田岬砲台内部木造部分の全面的な解体修理事業や研究の進展により、台場築造の謎が解明されつつある。本展では、最新の研究成果を踏まえ、幕末期の大阪湾岸に築かれた台場群の新たな側面と、その歴史的意義を紹介した。

- ・会期：令和 3 年（2021）2 月 6 日（土）～3 月 28 日（日） 39 日間
- ・会場：南蛮美術館室・特別展示室 2
- ・主催：神戸市立博物館、神戸新聞社
- ・協力：三菱重工業株式会社、神戸市文化財課
- ・後援：NHK 神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西
- ・協賛：公益財団法人日本教育公務員弘済会兵庫支部
- ・入場料：当日・一般 1,000 円（団体 800 円）
- ・入場者数：4,524 人
- ・出品件数：117 件 ※出品目録は[当館ホームページ](#)に掲載
- ・関連事業：p.59 に掲載



特別展
 和田岬砲台史跡指定100年記念
 大阪湾の防備と台場展



図録表紙

神戸市指定有形文化財
和洋陣立軍具（部分） 豊島光年（1865）（神戸市立博物館蔵）

大阪湾の 防備と 台場展



和洋陣立軍具（部分）1870年代初期（神戸市立博物館蔵）

2021.2.6.sat—3.28.sun

休 期 日：毎週月曜日
会 場：神戸市立博物館 2階 高田実徳記念、特別展示室2、特別
展示室1、10号～12号（ただし金曜日、土曜日は18時30分まで閉館（入場は閉館の30分前まで）
入 場 料：一般1,000円（団体800円） 大学生500円（団体400円） ※高校生以下無料
※団体は20名以上（領収書印）は別途お申し込みのため、お見積りとの関係もあわせて、ご入場ください。/
※当日まで神戸市在住の方は当館予約窓口にて貸切予約の受付（団体専用）が予約、/
貸切の場合は貸切・貸切専用などの受付で受付。

事前
予約受付

本展では、新型コロナウイルス感染症予防・感染防止のため、
入場制限の他、観覧券をお持ちの方のみ、オンライン
による事前予約されたお席を優先させていただきます。
予約状況等の詳細は、決定次第、当館ホームページ
（<http://www.kobe-city-museum.jp/>）でお知らせいたします。

主 催：神戸市立博物館、神戸製鋼社
協 力：三菱重工業株式会社、神戸市文化財課
協 賛：NHK神戸放送局、マシナレビジョン
ラジオ関西
協 賛：公益財団法人 日本製鋼協会 公益財団法人 日本製鋼協会



神戸市立博物館
こどものための鑑賞ガイド

こどものための鑑賞ガイド

神戸市歴史博物館
定例展示「和州外郎屋敷跡」(部分) 幕末大作(1865)

特別展 和田岬砲台史跡指定100年記念

大阪湾の

防備と 台場展



和田岬砲台写真(部分) 1870年代初期

2021.2.6.sat—3.28.sun

休館日：毎週月曜日

会場：神戸市立博物館 2階 南館美術教室、特別展示室2、3階

開館時間：10時～18時(ただし金曜日は20時まで、土曜日は21時まで閉館)(入場は閉館の30分前まで)

入場料：一般1,000円(団体800円) 大学生500円(団体400円) ※高校生以下無料

※団体は20名以上(新型コロナウイルス感染症対策のため、お客様同士の距離をあけて、ご入館ください) /
※65歳以上で神戸市在住の方は年齢割引窓口にて証明書の提示で毎日一般料金が半額 /
※障がいのある方は障がい者手帳などの提示で無料。

主催：神戸市立博物館、神戸新聞社

協力：三菱重工株式会社、神戸市文化財課

後援：NHK神戸放送局、サンテレビジョン

ラジオ関西

協賛：公益財団法人 日本教育公費負担協会兵庫支部

事前
予約制

本展では、新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止のため、
入場無料の方や、観覧券等をお持ちの方を含め、すべての
お客様はオンラインによる事前予約が必要となります。
予約方法等の詳細は、決定次第、当館ホームページ
にてお知らせいたします。

<https://www.kobecitymuseum.jp/>でお知らせいたします。



左：小倉重頼等(部分) 戦国時代、15世紀 右：武蔵野月夜之内笠目取えびらの時(部分) 慶応3年

同時開催

企画展「神戸源平通り—「平家物語」の舞台を訪ねて—」


会場：3階 特別展示室1

※「大阪湾の防備と台場展」の観覧券でご覧いただけます。

企画展「記念物100年」(協力：文化庁)

会場：1階ホール

※入場無料

 神戸市立博物館

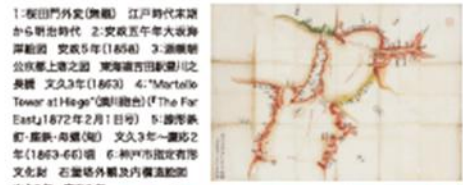
ちらし 表

和田岬砲台は、大正10年(1921)3月3日、兵庫県下では五色塚古墳などとともに初となる国の史跡に指定されました。本展は、その史跡指定100年を記念して開催するものです。「砲台」とは大砲を設置する軍事施設ですが、当時は「台場」の方が一般的でした。嘉永6年(1853)のペリー来航から明治維新まで、わずか10数年の間に大阪湾岸に築かれた台場は100基以上に及びます。なかでも、和田岬砲台をはじめ幕府が築いた台場群には、当時最新の構造が採用されました。まさに、「將軍の武威」を国内

外に発信する役割が期待されたといえるでしょう。近年行われた和田岬砲台の全面的な解体修理事業や研究の進展により、台場築造の謎が解明されつつあります。本展では、最新の研究成果も踏まえ、これらの台場群の新たな側面と、その歴史的意義をご紹介します。

【観覧会構成と主な展示作品】

- I **幕末の世情と海洋防備**
幕末日本を取り巻く国際環境と国内の動きをたどります。
- II **黒船来航と大阪湾防備**
ロシア軍艦の大阪湾来航に伴い変質する大阪湾防備について考えます。
- III **「將軍の武威」を発信する装置**
幕府自らが進取らせた大阪湾岸での台場築造の歴史的意義をみなおします。
- IV **近代的台場を実現させた日本の組織と技術**
西洋の知識・技術がいかにして実現されたのか、資料を通じてさぐります。
- V **史跡指定された全国の台場**
国の史跡に指定された、全国の幕末期の台場および城壁を紹介します。



関連事業

◎記念講演会「国内・近頃の社会と幕末の台場築造」

3月14日(日)14時～15時30分(開場13時30分)
講師:出船学芸員 高久 智広/会場:神戸市立博物館 地階講堂/定員:定員40名(当日先着順・指定席)/対象:一般
参加費:無料(ただし、当日お使いいただける特別展観覧券が必要)

◎ギャラリートーク(学芸員によるみどころ解説)

会期中の関連会曜日 11時30分～12時(※企画展「神戸運平巡り」と共催開催)

◎子供向けイベント【こらべ歴史たんけん隊】「和田岬砲台に入りホーダイ！」

3月13日(土) ①10時～12時30分(受付9時30分～) ②14時～16時30分(受付13時30分～)
会場:神戸市立博物館 地階講堂、和田岬砲台 ※和田岬砲台は当館からバスでの往復見学となります。
定員:各回6名(応募多数の場合は抽選) 対象:小学4年生～中学3年生 参加費:500円
※開催まで保護者の同意が必要となります。

申込方法:

①往復乗車で申し込む場合

往復乗車に「こらべ歴史たんけん隊」、若しくは「和田岬砲台」の乗車券(①もしくは②)、参加希望者のお名前、年齢、学年、電話番号(保護者のお名前)、当該席の宛名を記入し、下記の申込先まで郵送してください。

②オンラインで申し込む場合

神戸市のイベント予約システム(<https://kobe-city-official-event.jp/form/1696>)または下記二次元バーコードを携帯取りホームページにアクセスしてください。予約システムに繋がって入力してください。不明な点がございましたら、神戸市立博物館までご連絡ください。(TEL:078-391-0035)

- ・1枚の乗券および1回のオンライン申込で本人を含め3名まで申し込むことができます。その場合、参加希望の子供全員と保護者の方のお名前をご記入ください。
- ・1枚の乗券および1回のオンライン申込で複数のイベントに申し込むことはできません。

申込締切:2月19日(金)締切の場合は別印有効

郵送の申込先:〒650-0034 神戸市中央区京町24番地
神戸市立博物館 こらべ歴史たんけん隊係



企画展「神戸運平巡りー「平家物語」の舞台を訪ねてー」

神戸市立博物館が所蔵する資料を通じて、800年以上前の神戸で行われた源平合戦で活躍した武将たちの勇姿と遺された足跡を紹介し、彼らがどのように人々に興味を持たれ、愛され続けてきたかに迫ります。

関連事業:記念講演会「神戸に選された源平合戦」

2月28日(日)14時～15時30分(開場13時30分)
講師:出船学芸員 三好 俊/会場:神戸市立博物館 地階講堂/定員:定員40名(当日先着順・指定席)/対象:一般
参加費:無料(ただし、当日お使いいただける特別展観覧券が必要)

企画展「記念物100年」(協力:文化庁)

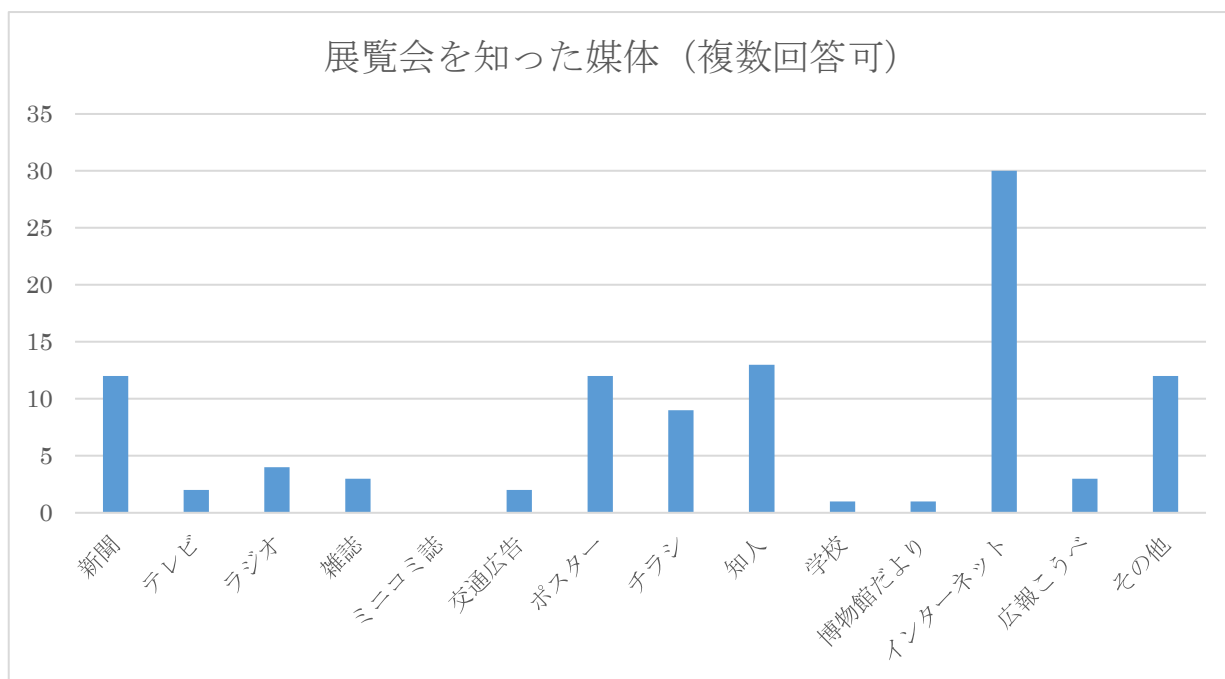
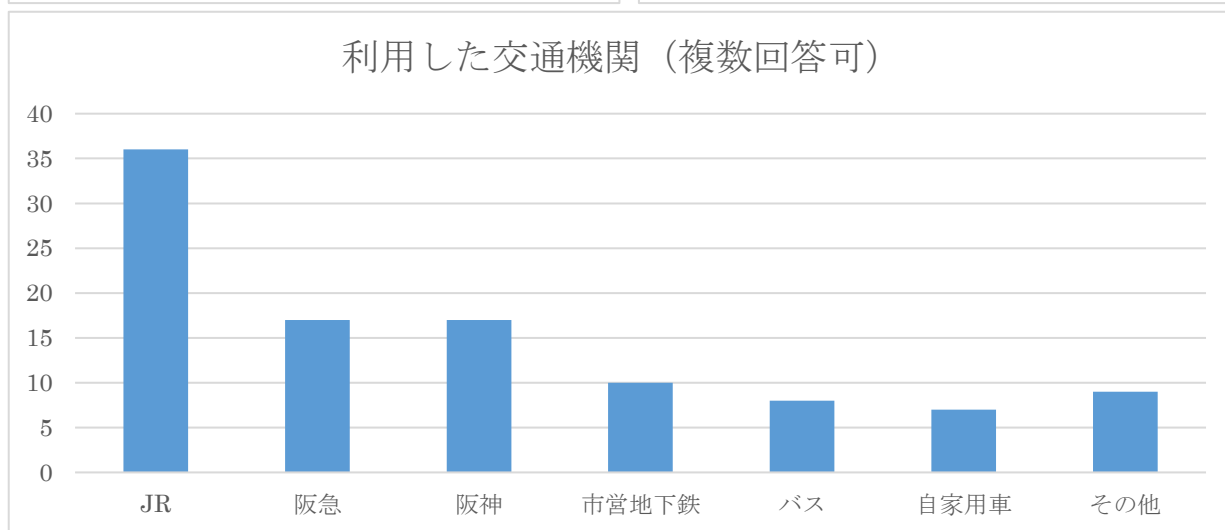
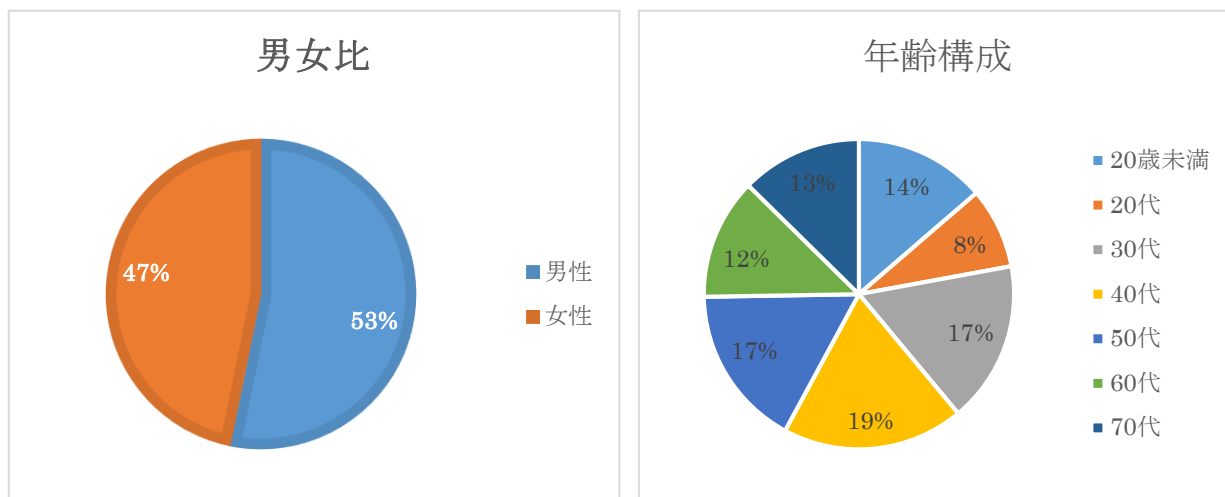
国指定の史跡名勝天然記念物が制定されて100年を記念して、これまでの経過や取り組みについて、ご紹介いたします。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観覧券の印刷・申し込み並びに関連事業の中止をさせていただく場合がございます。開場、当該ホームページならびに公式Twitter・Facebookにてお知らせいたしますので、ご来館の際は最新情報をご確認ください。 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来館の際は、マスクの着用、検温、手洗いの消毒等に協力をお願いします。

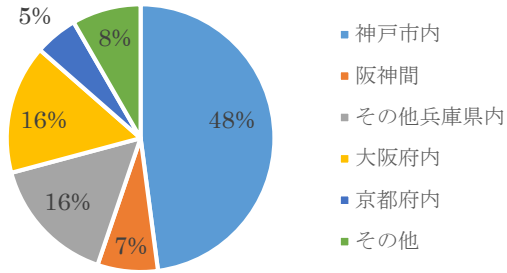
ちらし 裏

アンケートの結果（回答者：98人）

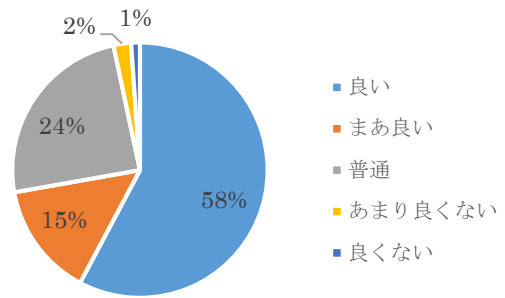
アンケート方法：展覧会期間中、観覧を終えた希望者による用紙記入



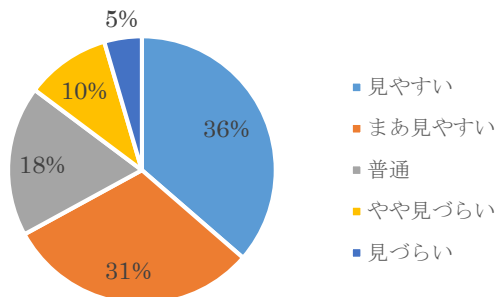
お住まい



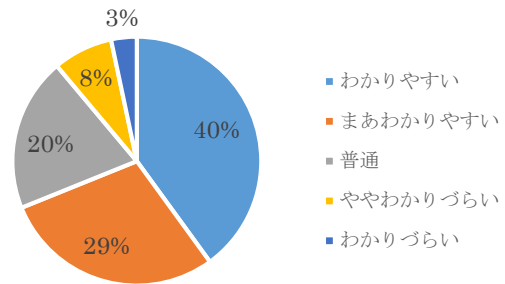
スタッフの対応



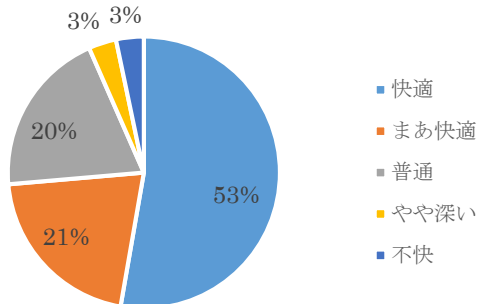
展示の見やすさ



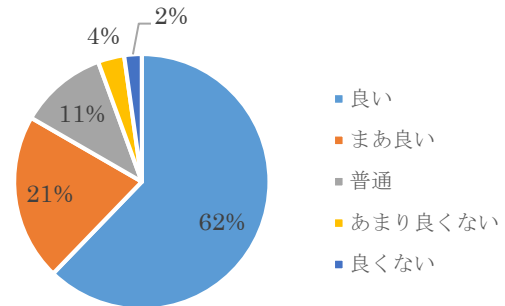
解説のわかりやすさ



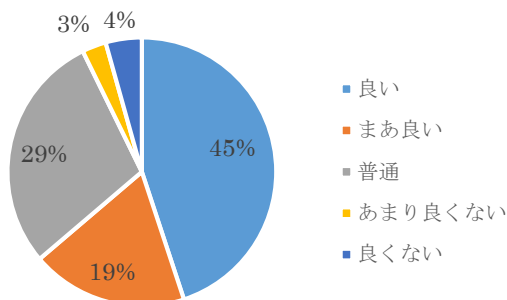
展示室の環境



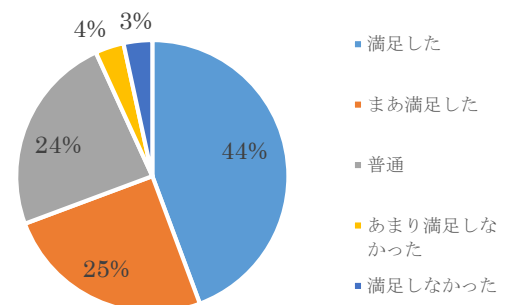
展示品



図録



全体満足度



(4) 【開催中止】 特別展

兵庫の書展 兵庫県書作家協会創立 70 周年記念

—2020 令和からの発信—

・ 内容

兵庫県書作家協会創立 70 周年を記念し、書作家協会に結集した作家の作品を通して、「書」に対する親しみを深めることを目的とした展覧会。新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け、中止となった。

【当初予定】

- ・ 会期：令和 2 年（2020）7 月 23 日（木・祝）～9 月 22 日（火・祝） 54 日間
- ・ 会場：特別展示室 1
- ・ 主催：神戸市立博物館、兵庫県書作家協会
- ・ 目標入場者数：4,320 人

(5) 【開催中止】 特別展

開港 5 都市フェスタ 2020 in神戸

開港 5 都市 開港歴史展

・内容

「開港 5 都市景観まちづくり会議」は、開港 5 都市（函館、新潟、横浜、神戸、長崎）の市民団体が集い、それぞれの都市が育んできた都市文化や国際交流の接点として発展してきた歴史を活かし、観光事業の発展に寄与していくことを目的として開催されてきた。

設立 25 周年の節目を迎えるにあたり、さらに各都市の魅力を高め、景観のみならず、開港にまつわる歴史や文化を広く発信していくため、「開港 5 都市フェスタ」として「2020 神戸大会」を拡大開催する。そのなかで、収蔵資料の展示とともにポスター展示やパネル展示による「開港 5 都市 開港歴史展」を当館でも企画し、地下講堂での講演会なども構想するとともに、協賛事業者を積極的に募った。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、6 月中旬にはまちづくり会議の開催中止が決定し、これに伴い、特別展示もあわせて中止することとなった。

【当初予定】

- ・会期：令和 2 年（2020）9 月 29 日（火）～10 月 4 日（日） 6 日間
- ・会場：回廊、ホール
- ・主催：神戸市立博物館、開港 5 都市フェスタ実行委員会（予定）

(6)【開催中止】特別展

ボストン美術館展 芸術×力 (げいじゅつとちから)

・内容

エジプト、ヨーロッパ、インド、中国、日本などさまざまな地域で生み出された約 60 点の作品を通して、芸術作品が本来になっていた役割と、力とともにあった芸術の歴史を振り返る展覧会。東京都美術館・福岡市美術館・当館の 3 会場を巡回する企画で「吉備大臣入唐絵巻」「平治物語絵巻」などの名品が里帰りを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け、全 3 会場で開催中止となった。

【当初予定】

- ・会期：令和 2 年（2020）10 月 24 日（土）～令和 3 年（2021）1 月 17 日（日） 73 日間
- ・会場：特別展示室 1、南蛮美術館室、特別展示室 2
- ・主催：神戸市立博物館、読売テレビ、読売新聞社
- ・目標入場者数：193,500 人
- ・出品件数：約 60 件

2. 企画展

(1) 企画展

神戸源平巡り—『平家物語』の舞台を訪ねて—

・内容

モダンでハイカラな港町一、現在多くの方が持っている神戸のイメージは、神戸港開港の1868年1月1日（慶応3年12月7日）以降に根付いたもので、その歴史は意外と短い。では、それ以前の人々は神戸の地を訪れる際に、何をしたり、楽しんだりしたのか…。江戸時代の神戸周辺の「名所記」「名所図会」には、今から800年以上前に起こった源氏と平氏の戦い—「源平合戦」で活躍した武将たちの墓や慰霊のための石碑が多数掲載されており、江戸時代の神戸を訪れた人々は、源平の武将たちに思いを馳せていた。そして、これらの墓や石碑の多くは今日にいたるまで大切に守り伝えられている。

本展では、神戸市立博物館が所蔵する作品を中心に、武将たちの勇姿や神戸に遺された足跡を紹介し、彼らがどのように人々に興味を持たれ、愛され続けてきたかに迫った。

- ・会期：令和3年（2021）2月6日（土）～3月28日（日） 44日間
- ・会場：3階特別展示室1
- ・出品件数：41件 ※出品目録は[当館ホームページ](#)に掲載。
- ・関連事業：p.59に掲載

神戸源平巡り

— 『平家物語』の舞台を訪ねて—



編集・発行：神戸市立博物館
〒050-0034 神戸市中央区京町 24 番地
TEL：078-391-0035 FAX：078-392-7054
発行年月日：令和 3 年 2 月 6 日
印刷：株式会社クリアオ 神戸営業所
神戸市広報印刷物登録 令和 2 年度 第 569 号 広報印刷物規格 A-1 類

神戸市立博物館

図録表紙・裏表紙

3. 常設展示

(1) 神戸の歴史展示

○兵庫県指定重要有形文化財 □神戸市指定文化財

指 定	資料名 (所蔵番号または所蔵)	作者	材質技法・形態	員数	時代
□	鱈付円筒埴輪 五色塚古墳出土(神戸市蔵)		粘土	4点	古墳時代前期
	有茎尖頭器 垂水区名谷町出土(考015-06)		サヌカイト	1点	旧石器時代
	有茎尖頭器 北区山田町出土(考015-05)		サヌカイト	1点	旧石器時代
	ナイフ形石器 兵庫区会下山町出土(考015-01)		サヌカイト	1点	旧石器時代
	ナイフ形石器 西区神出町出土(考015-02)		サヌカイト	1点	旧石器時代
	ナイフ形石器 池上南山遺跡(西区)出土(考015-03-01~04)		サヌカイト	4点	旧石器時代
	石刃 大歳山遺跡(垂水区)出土(考015-04)		サヌカイト	1点	旧石器時代
	縄文土器 深鉢 境川遺跡(須磨区)出土(考013-2-1)		粘土	12点	縄文時代早期
	石鏃 境川遺跡(須磨区)出土(考013-2-3)		サヌカイト	2点	縄文時代早期
	石槍 境川遺跡(須磨区)出土(考013-2-3)		サヌカイト	2点	縄文時代早期
	搔器 境川遺跡(須磨区)出土(考013-2-3)		サヌカイト	2点	縄文時代早期
	縄文土器 深鉢(復元品) 大歳山遺跡(垂水区)出土(新1995-03-5)		粘土	1点	縄文時代前期
	弥生土器 壺 伯母野山遺跡(灘区)出土(新1987-133-01-077)		粘土	1点	弥生時代中期
	弥生土器 甕 伯母野山遺跡(灘区)出土(新1987-133-01-031)		粘土	1点	弥生時代後期
	弥生土器 高坏 伯母野山遺跡(灘区)出土		粘土	1点	弥生時代後期

	(新 1987-133-01-054)				
	弥生土器 飯蛸壺 伯母野山遺跡(灘区)出土(新 1987-133-01-089・091)		粘土	2点	弥生時代中期
	磨製方柱状片刃石斧 伯母野山遺跡(灘区)出土(新 1987-133-01-201)		緑色片岩	1点	弥生時代中期
	磨製石杵 伯母野山遺跡(灘区)出土(新 1987-133-01-226)		硬質砂岩	1点	弥生時代中期～後期
	板状鉄斧 伯母野山遺跡(灘区)出土(新 1987-133-01-166)		鉄	1点	弥生時代中期～後期
	素文鏡 大歳山古墳(垂水区)出土(新 1982-743-6)		青銅	1点	古墳時代前期
	ガラス製小玉 大歳山古墳(垂水区)出土(新 1982-743-1)		ガラス	42点	古墳時代前期
	碧玉製勾玉 大歳山古墳(垂水区)出土(新 1982-743-2)		碧玉	1点	古墳時代前期
	硬玉製勾玉 大歳山古墳(垂水区)出土(新 1982-743-4)		翡翠カ?	1点	古墳時代前期
	管玉 大歳山古墳(垂水区)出土(新 1982-743-3)		碧玉・緑色凝灰岩	19点	古墳時代前期
	石釧 大歳山古墳(垂水区)出土(新 1982-743-5)		緑色凝灰岩	1点	古墳時代前期
	須恵器 生田町古墳群(中央区)出土(個人蔵)		粘土	18点	古墳時代後期
	撰津名所図会 武庫郡・菟原郡(新 1979-056)	秋里籬島著	紙本木版墨摺	1冊(12冊のうち)	寛政10年(1798)
	略平家都遷(新 2017-018)	江島其積	紙本木版墨摺	1冊	享保20年(1735)
	撰州一の谷鶴越ヨリ義経平家ヲ攻ル図	歌川芳藤	紙本木版色摺	3枚続	明治時代前期

	(新 1988-111)				
	室町幕府御教書 (複製) (新 1986-108-1)		(原品) 紙本墨書	1 点	(原品) 暦応 2 年 (1339)
	軒平瓦 (均整唐草文) (考 005-01-025)		瓦	1 点	平安時代
	兵庫北関入船納帳 (複製) (新 2018-016)		(原品) 紙本墨書	1 冊	(原品) 文安 2 年 (1445)
	奥蔵寺 大般若経 (新 2003-007)		紙本墨書	1 卷	久安 3 年～5 年 (1147-1149)
	遣唐使船模型 (新 1981-460)			1 点	昭和時代
	三好長慶書下 (「極井家文書」のうち、個人蔵)		紙本墨書	1 点	天文 9 年 (1540)
	三好長慶折紙 (「極井家文書」のうち、個人蔵)		紙本墨書	1 点	室町時代
	太平記英勇伝 荒儀撰津 守村重 (別車-1-1-236)	歌川国芳	紙本木版色摺	1 点	弘化 4 年～嘉永 5 年 (1847-1852)
	太平記英勇伝 松永大膳 久英 (別車-1-1-226)	歌川国芳	紙本木版色摺	1 点	弘化 4 年～嘉永 5 年 (1847-1852)
	安宅鴨冬書下 (「極井家文書」のうち、個人蔵)		紙本墨書	1 点	天文 23 年 (1554)
	羽柴秀吉領知判物 (「極井家文書」のうち、個人蔵)		紙本墨書	1 点	天正 8 年 (1580)
	大阪より松江まで航路図 (新 1985-349)		紙本手書手彩	1 巻	江戸時代中期
	朝鮮人御用覚日記 (「鷲尾家文書」のうち、個人蔵)		紙本墨書	2 冊	宝暦 12 年～明和元年 (1762-1764)
	兵庫勤番文書 (新 2017-001)		紙本墨書	2 点	江戸時代後期
	兵庫津寺社方絵図 (新 1992-010)		紙本手書手彩	1 舗	寛政 2 年 (1790)
	幕末風俗図巻 (新南 1960-003)		紙本淡彩	1 巻	江戸時代、19 世紀中期
	阿蘭陀国条約並税則 全		紙本木版墨摺	1 冊	安政 6 年 (1859)
	和田岬灯台写真 (新 2013-002)		写真	1 点	明治時代初期
	津名郡由良浦ヨリ紀州友ヶ島迄海程御仮図 (新 2015-011)		紙本著色	1 舗	文久 3 年 (1863)

	神戸海軍操練所鬼瓦 (新 1979-111)		粘土	1 点	文久 3 年～元治 2 年 (1863-1865) 頃
	弁財船模型 (新 1981-671)		木	1 点	(原品) 安政 6 年 (1859)
	摂州兵庫津絵馬 (複製) (新 1981-621)		木地著色	1 点	(原品) 天保 2 年 (1831)
	神戸外国人居留地 煉瓦 下水道管 (新 1985-475)		煉瓦、漆喰	1 点	明治時代初期
	神戸外国人居留地計画図 (複製) (新 2017-022)		(原品) 紙本ペン 書	1 幅	(原品) 明治 5 年 (1872)
	外国人旅行免状 (新 2003-028)		紙本印刷	1 点	明治 26 年 (1893) 5 月 10 日
	コーベ・クラブ (新 1994-133)		紙焼写真	1 点	明治時代中期
	神戸雑居地内地券税則 (新 1994-021)		紙本墨書	1 点	明治 4 年 (1871)
	摂州神戸西洋館賑之図 (15 章-並 082)	長谷川小信 (二代貞信)	紙本木版色摺	1 点	明治 4 年～明治 7 年 (1871-1874)
	居留地模型 (新 1982- 730)			1 点	昭和 57 年 (1982)
	旧居留地模型 (新 1993- 118)			1 点	平成 5 年 (1993)
	居留地 16 番標示石 (新 1980-216-2)		石	1 点	近代
	人力車 (新 1982-700)		金属	1 点	明治時代後期～大正時代
	居留地の下水道に使われ た煉瓦 (旧常設展示)		煉瓦	2 点	明治時代初期
	外国商館の軒先棧瓦 (新 1987-059)		瓦	1 点	明治時代
	輸出茶の梱包作業 (「ヘ リア商会関係写真」よ り) (新 1999-006)		紙焼写真	1 点	明治時代中期～後期
	マッチラベル (旧常設展 示)		紙本印刷	2 点	近代
	神戸三菱造船所開渠老周 年記念 (新 1991-276)	三菱合資会 社神戸三菱 造船所	紙本印刷	1 点	明治 39 年 (1906) 8 月 8 日
	川崎造船所営業案内 (新 2000-022)	株式会社 川崎造船所	紙本印刷	1 冊	昭和 8 年 (1933) 6 月
	軸列機 (新 1982-677)		金属	1 点	近代
	印刷機一式 (新 2018-		金属	1 式	近代

	002)				
	金子直吉書簡（太陽鋳工株式会社蔵）		紙本墨書	1点	大正4年（1915）
	相生橋の上から東を望む（「神戸名所写真」より）（新1988-109-05）		紙焼写真	1点	明治時代中期
	神戸給水事業計画ニ付バルトン工師演説傍聴筆記（村上-6-0007）		紙本印刷	1点	明治25年（1892）
	雑居地海岸通の電灯（「神戸名所写真」より）		紙焼写真	1点	明治時代中期
	山陽電気鉄道レール「明姫電気鉄道」（新1980-279）		金属	1点	明治41年（1908）11月
	山陽電気鉄道レール「兵庫電気軌道」（新1980-279）		金属	1点	大正11年（1922）4月
	阪神電気鉄道レール（新1980-319）		金属	1点	明治36年（1903）
	双頭レール（新1980-280）		金属	1点	明治時代初期
	第一回神戸みなとの祭ポスター（新1979-085）		紙本印刷	1点	昭和8年（1933）
	第一回神戸みなとの祭国際大舞踏会ポスター（新1979-082）		紙本印刷	1点	昭和8年（1933）
	日本輪業のタイヤポスター（新1986-015）		紙本印刷	1点	大正時代後期～昭和時代初期
	神戸マーケットポスター（新1986-085）		紙本印刷	1点	大正時代後期～昭和時代初期
	山水美しき 神戸名勝 FINE VIEWS OF KOBE		紙本印刷	絵葉書7点、袋1点	大正時代後期～昭和時代初期
	摩耶山案内（新2017-007）		紙本印刷	1点	大正14年（1925）5月1日
	The Climax System for Cutting Gentlemen's Garments（新2004-025）	T. W. Hodgkinson	紙本印刷	1冊	大正9年（1920）頃
	洋裁用鋏（新2004-025）		金属	1点	明治43年（1910）頃
	国産第一号パーマメント		金属	1点	昭和9年（1934）

	機 (新 1979-080)				
	グループ愛用の食器 (新 1981-494)		金属、陶磁器	1 式	明治時代中期～大正時代
	パン型		金属	2 点	近代
	トア・ホテルのメニュー (新 1979-064)		紙本印刷	1 点	大正時代～昭和時代初期
	ラムネ瓶		ガラス	1 点	近代
	欧風の椅子 天池徳兵衛製 (新 1980-099)		木、布	1 点	近代
	ひじつき椅子 (新 1982-645)		木、布	1 点	明治時代
	神戸市水害写生帖 (2) (新 2002-021)	神戸市初等教育研究会 図画部	紙本著色	1 点	昭和 13 年 (1938) 頃
	菊水小学校学校日誌 (1) (新 2008-032)		紙本印刷	1 点	昭和 13 年 (1948)
	阪神・淡路大震災の被災資料			1 点	
	外国人入京免状 (新 1993-098)		紙本墨書	1 点	明治 14 年 (1881) 11 月 6 日
	A14.GERMAN CLUB AT KOBE. [クラブ・コンコルディア] (新 1986-184)		紙焼写真	1 点	明治時代中期
	摂州神戸西洋館大湊の賑ひ (15 章・並 084)	長谷川小信 (二代貞信)	木版色摺	1 点	明治 4 年～明治 8 年(1871-1875)
	日本産物雑品図略 (新 1981-430)	ホーム商会	木版墨摺	1 冊	明治時代初期
	金子翁記念像縮写、鈴木よね子刀自記念像縮写 (新 1978-028)	本山白雲	ブロンズ	2 点	昭和 12 年 (1937) 8 月
	神戸市水道全図 (新 1991-383)	神戸市役所	紙本印刷	1 点	大正 10 年 (1921) 3 月
	兵庫姫路電車沿線名勝案内 (新 2017-005)	宇治川電気株式会社、しんび堂	紙本印刷	1 点	昭和 5 年(1930)4 月
	神戸みなとの祭ポスター (新 1985-313)		紙本印刷	1 点	昭和 10 年 (1935)
	湊川神社遷宮祭・須磨のさくらポスター (新 1985-316)		紙本印刷	1 点	昭和 9 年 (1934) 頃

	神戸居留地廿六番ブロー ン商館引札 (18章-小238)	石田有年か	銅版色摺	1点	近代
	摂州神戸海岸繁栄図 (15章-並089)	長谷川小信 (二代貞信)	木版色摺	1点	明治4年～明治8年(1871-1875)
	神戸みなとの祭実況絵葉 書(4-71-1～14、新 1986-043)		紙本印刷	14点	昭和9年(1934)
	兵庫県違式註違条例 (新2019-013)		紙本印刷	1点	明治9年(1876)8月26日
	神戸名所之内 和田之岬 (15章-並110)	長谷川小信 (二代貞信)	木版色摺	1点	明治5年～明治7年(1872-1874)
	須磨(5-27-1～7)	須磨観光協 会、森月城原 画	紙本印刷	7点	昭和時代初期
	須磨のさくら (4-13-1～8)	神戸元町栄 屋商店	紙本印刷	8点	大正時代後期～昭和時代初 期

(2) 地域文化財展示室

○兵庫県指定重要有形文化財 □神戸市指定文化財

兵庫津絵図 3月28日(土)～6月21日(日)

内容／江戸時代に瀬戸内海航路の要港、西国街道の宿駅としてにぎわいをみせた兵庫津について、都市空間の変化を物語る文化財を前期(尼崎藩時代の都市空間情報の把握：3.28～5.6)と後期(明和上知と都市空間情報の把握：5.8～6.21)に分けて展示した。

- ・ 出品件数 7 件
- ・ 出品資料

指定	資料名 (所蔵番号または所蔵)	作者	材質技法・形態	員数	時代
	摂州八部郡福原庄兵庫津 絵図 (個人蔵)		手書手彩	1 鋪	元禄 9 年 (1696)
	争論相済帳 (個人蔵)		紙本墨書	1 冊	享保 2 年 (1717)
	御条目留帳 (個人蔵)		紙本墨書	1 冊	貞享 3 年 (1686)
	津中絵図控 (個人蔵)		手書手彩	1 鋪	嘉永 3 年 (1850)
	兵庫陣屋絵図 (新 1981-488-2-07)		手書手彩	1 鋪	江戸時代後期
	当津御公料二相成、絵		紙本墨書	1 冊	明和 6 年 (1769)

図・水帳被仰付候節間数 絵図（北宮内町） （個人蔵）				
宮前町水帳絵図 （個人蔵）		紙本墨書	1冊	天保9年（1838）

弥生時代の高地性集落 7月4日（土）～9月22日（火）

内容／弥生時代中期以降に急峻な山頂や山の斜面、丘の上などに営まれ、集落（ムラ）の周囲に壕や土塁を巡らせるなど、防御的な性格を持つ高地性集落を紹介し、神戸市内に所在する灘区伯母野山遺跡、西区青谷遺跡などから出土した考古資料を展示した。

- ・ 出品件数 20 件
- ・ 出品資料

指定	資料名 (所蔵番号または所蔵)	作者	材質技法・形態	員数	時代
	伯母野山遺跡出土資料				
	弥生土器 壺 (新 1987-133-01-135)		粘土	1点	弥生時代中期～後期
	弥生土器 甕 (新 1987-133-01-044)		粘土	1点	弥生時代中期～後期
	弥生土器 鉢 (新 1987-133-01-013)		粘土	1点	弥生時代中期～後期
	弥生土器 台付鉢 (新 1987-133-01-110)		粘土	1点	弥生時代中期
	弥生土器 ミニチュア土 (新 1987-133-01-140)		粘土	1点	弥生時代中期～後期
	弥生土器 イイダコ壺 (新 1987-133-01-046)		粘土	1点	弥生時代後期
	紡錘車 (新 1987-133-01-130・ 131)		粘土	2点	弥生時代中期～後期
	石鏃 (新 1987-133-01-172～ 179・181・187)		サヌカイト	10点	弥生時代中期～後期
	石匙 (新 1987-133-01-191)		サヌカイト	1点	弥生時代中期～後期
	打製石包丁 (新 1987-133-01-192)		サヌカイト	1点	弥生時代中期～後期
	大型蛤刃石斧 (新 1987- 133-01-193)		砂岩	1点	弥生時代中期～後期
	柱状片刃石斧 (新 1987-133-01-202)		片岩	1点	弥生時代中期～後期

	有溝石錘 (新 1987-133-01-213・ 214)		片岩・花崗岩	2 点	弥生時代中期～後期
	鉄鏃 (新 1987-133-01-168)		鉄	1 点	弥生時代中期～後期
	銅剣形石剣 (複製品) (新 1981-466)		原品粘板岩	1 点	弥生時代中期
	銅剣形石剣 (複製品) (新 1988-056)		原品粘板岩	1 点	弥生時代中期
	青谷遺跡採集資料				
	鉄剣形石剣 (考 005-02-002)		粘板岩	1 点	弥生時代中期
	環状石斧 (考 009-02-12)		粘板岩	1 点	弥生時代中期
	磨製石戈 (考 005-02-001)		粘板岩	1 点	弥生時代中期
	弥生土器 (新 2003-045-14-15)		粘土	2 点	弥生時代中期

明治期着色写真の世界 9月29日(火)～11月29日(日)

内容／明治期、開国後の日本を訪れた諸外国の人々の興味を引き付けるために、日本の名所・風俗を被写体とした単色写真を1点1点着色して制作された「着色写真」を取り上げ、神戸の風景を題材とした館蔵資料を中心に展示した。

- ・ 出品件数 7 件
- ・ 出品資料

指定	資料名 (所蔵番号または所蔵)	作者	材質技法・形態	員数	時代
	日本名所風俗写真帳 1 (新 1987-266)		蒔絵アルバム・紙 焼写真収納箱	1 冊・ 1 点	明治時代中期
	日下部金兵衛の名刺・金弊 写真館のカタログ (新 1987-266)		紙本	2 点	明治時代中期
	写真をプリントした絹地 (新 2000-039)		絹	1 点	明治時代中期～後期
	日本名所風俗写真帳 6 (新 1989-038)		蒔絵アルバム・紙 焼写真	1 冊	明治時代中期～後期
	JAPAN (新 1989-078)		紙本	1 冊 (15 冊 のうち)	明治 30 年 (1897)
	H59.ISLAND OR SENSUI-JIMA AT		紙焼写真	1 点	明治時代中期

	TOMO,BINGO (新 1988-070、1-17-32)				
	H64.HYOGO BUDDHA (新 1990-028、2-17-17)		紙焼写真	1 点	明治時代中期

神戸の曼荼羅 12月1日(土)～1月31日(日)

内容／曼荼羅は、仏教の一派・密教において最も重要な絵画とされる。神戸市内有数の名刹であり須磨寺の名で知られる福祥寺に伝わる「両部曼荼羅」を展示し、神戸の曼荼羅についての紹介を行った。

- ・ 出品件数 2 件
- ・ 出品資料

指定	資料名 (所蔵番号または所蔵)	作者	材質技法・形態	員数	時代
	両部曼荼羅 胎蔵・金剛界 (福祥寺蔵)		絹本著色	2 幅	南北朝時代～室町時代初期
	御請来目録 原本空海著 (新 1985-141)	空海	紙本墨書	1 帖	江戸時代 (原本大同元年)

東播系須恵器と瓦 2月6日(土)～3月28日(日)

内容／平安時代後期～室町時代に現在の神戸市西区、明石市、三木市付近で生産された瓦・須恵器(東播系須恵器)を取り上げ、平安京における院政政治の舞台「六勝寺」造営に使用された瓦、各地に流通した須恵器を展示し、神戸と消費地との関連を紹介した。

- ・ 出品件数 14 件
- ・ 出品資料

指定	資料名 (所蔵番号または所蔵)	作者	材質技法・形態	員数	時代
	須恵器 壺 出土地不明 (新 1984-068)		粘土	1 点	平安時代末期
	須恵器 壺 西区神出町出土 (考 008-13-01・02・03、考 009-01-02・03)		粘土	5 点	平安時代末期
	土師器 皿 兵庫区雪御所町出土 (新 1987-133-23)		粘土	4 点	平安時代末期
	唐草文軒平瓦		粘土	1 点	平安時代末期

兵庫区雪御所町出土 (新 1979-110)					
須恵器 片口鉢 西区神出町老ノ口出土 (考 009-01-03)		粘土	1点	平安時代末期	
須恵器 片口鉢 明石海峡引き揚げ (新 1986-043)		粘土	1点	平安時代末期	
須恵器 甕 出土地不明(新 1988- 043)		粘土	1点	平安時代末期	
須恵器 甕 伝九州出土 (新 1993-074)		粘土	1点	平安時代末期	
軒丸瓦 複弁蓮華文 西区神出町出土 (新 1995-034-029)		粘土	1点	平安時代末期	
軒丸瓦 複弁蓮華文 京都市六勝寺址出土 (新 1995-034-028)		粘土	1点	平安時代末期	
軒丸瓦 巴文 西区押部谷付近出土 (新 1995-034-034)		粘土	1点	鎌倉時代	
軒丸瓦 巴文 兵庫区門口町福巖寺出土 (新 1985-414-2)		粘土	1点	鎌倉時代?	
線刻入丸瓦 北区淡河町石峯寺境内出 土 (考 010-11-1)		粘土	1点	室町時代	
軒丸瓦 巴文 北区淡河町石峯寺境内出 土 (考 010-11-2)		粘土	1点	室町時代	

(3) コレクション展示

◎国宝 ○国指定重要文化財 ○兵庫県指定重要有形文化財 □神戸市指定文化財

■国宝 桜ヶ丘銅鐸・銅戈

内容／昭和 39 年（1964）に神戸市灘区で発見された「桜ヶ丘銅鐸・銅戈群」を一同に展示。

・出品件数：21 件

・ 出品資料

指定	資料名（所蔵番号または所蔵）	材質技法・形態	員数	時代
◎	桜ヶ丘銅鐸・銅戈群	青銅	銅鐸 14 口 銅戈 7 口	弥生時代中期、紀元 前 2～紀元後 1 世紀

■ 聖フランシスコ・ザビエル

内容／日本にはじめてキリスト教を伝えた偉人の肖像として広く知られている「聖フランシスコ・ザビエル像」と、ザビエルその人の足跡を紹介する展示室。大正 9 年（1920）のザビエル像「発見」から 100 周年を迎えた本年は、11 月 3 日（火・祝）～11 月 23 日（月・祝）に重要文化財の原品を展示した（そのほかの期間は、レプリカを展示）。あわせて、関連資料展示では、17 世紀初期の洋風画等を展示した。

・ 原品展示期間： [11 月 3 日（火・祝）～11 月 23 日（月・祝）]

指定	資料名（所蔵番号または所蔵）	材質技法・形態	員数	時代
◎	聖フランシスコ・ザビエル像 (01 章-額 001)	紙本著色	1 面	江戸時代、17 世紀前期

・ 関連展示

[5 月 19 日（火）～6 月 21 日（日）]

指定	資料名（所蔵番号または所蔵）	材質技法・形態	員数	時代
	キリシタン聖牌	紙本銅版、他	4 点	16 世紀後半～17 世紀初期

[7 月 4 日（土）～8 月 10 日（月・祝）]

指定	資料名（所蔵番号または所蔵）	材質技法・形態	員数	時代
	キリシタン制札		1 点	天和 2 年(1682)

[8 月 13 日（木）～9 月 22 日（火・祝）]

指定	資料名（所蔵番号または所蔵）	材質技法・形態	員数	時代
	豊臣秀吉朱印状	紙本墨書	1 点	天正 16 年(1588)

[10 月 3 日（土）～11 月 23 日（月・祝）]

指定	資料名（所蔵番号または所蔵）	材質技法・形態	員数	時代
	都の南蛮寺図	紙本著色	1 面	安土桃山時代、16 世紀後半

[12 月 5 日（土）～1 月 24 日（日）]

指定	資料名（所蔵番号または所蔵）	材質技法・形態	員数	時代
	メダイ	真鍮または鉛	6点	16世紀後半～17世紀初期

[2月6日（土）～3月28日（日）]

指定	資料名（所蔵番号または所蔵）	材質技法・形態	員数	時代
	二武人図	紙本着色	1面	江戸時代前期、17世紀前半

■美術

司馬江漢の風景画 5月19日（火）～6月21日（日）

内容／司馬江漢（1747-1818）は、絵画制作から学術的な著作まで、幅広い分野に才能を発揮した。若い頃は鈴木春信風の錦絵を描き、宋紫石から中国風の花鳥画を学んだが、西洋の学術に通じた平賀源内や大槻玄沢などとの交流を通して、西洋絵画の表現に目覚めていった。天明3年（1783）、舶来洋書の記述を参考にして、日本初のエッチング（腐蝕銅版画）の技法の開発に成功する一方で、水墨などの在来の技法でも、西洋風の陰影や奥行き感を持ち味とする風景画を描いた。実際に訪ね歩いた江戸や日本各地の名所から、未だ見ぬ西洋の景色まで、当時の最先端をいく司馬江漢の風景表現を紹介した。

- ・出品件数：13件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

描かれた動物たち 7月4日（土）～8月10日（月・祝）

内容／南蘋風花鳥画と黄檗絵画から、動物を描いた作品6点を紹介した。猫、虎、犬、鳥、鹿など、私たちも一度は見たことのある動物を江戸時代の画家たちはどのように、なぜ描いたのか。動物の表情や姿、込められた意味や願いに注目する展示を試みた。近年新たに収蔵した鶴洲筆「梅に鴛鴦図」の初公開も行った。

- ・出品件数：6件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

洋画コレクションより—空間を見極める 8月13日（木）～9月22日（火・祝）

内容／当館の近代洋画コレクションから「空間の描き方」をテーマに作品を選んで紹介。明治以降、本格的に油絵の技術が伝わった日本において、洋画家たちがどのように三次元的空間をとらえようとしたのか、その歩みを、明治から昭和にかかる様々な油彩画から辿った。また、パネルや解説文によって平面に広がる絵画世界に五感や想像力を用いて浸るといった鑑賞方法を提案し、絵画鑑賞の自由度を伝える機会とした。

- ・出品件数：6件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

人物表現の洋風趣味Ⅱ 10月3日（土）～11月23日（月・祝）

内容／海外の様々な文物が長崎を通して日本にもたらされた江戸時代。特に、人物の容姿を立体的に描く西洋の版画作品は、日本人の「人間」を見つめ描く眼差しを大きく変えた。洋風の人物表現に焦点を当てるシリーズの第2弾。この展示では、最近の研究で、作画

のもととなった西洋製版画が特定できた作品とともに、未だにその図像の起源が謎のベールに包まれている人物画も紹介。

- ・ 出品件数：8件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

生誕 320年 佚山 12月5日(土)～1月24日(日)

内容／大坂出身の書家・画家・篆刻家・曹洞僧である佚山黙隠(1702-78)の特集展示。京坂における中国文化の受容を考える上で、きわめて重要な人物でありながら、ほとんどのその名が知られていない佚山に光を当てることを目的とした。今回の展示では、生誕から数え320年を迎えるにあたり、近年収集を進めてきた作品など、初公開4点を含む当館所蔵の印譜・書・絵画作品を一堂に展示し、その世界に迫った。

- ・ 出品件数：6件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

異国趣味のやきものー京阿蘭陀 2月6日(土)～3月28日(日)

内容／19世紀はじめ、京都を中心に、当時輸入されていた西洋の陶磁器から着想を得た京阿蘭陀と呼ばれるやきものが製作された。京阿蘭陀は、素焼きした器体に白化粧土を掛けて、さらに藍絵で器体を埋め尽くすように施された絵付が特徴の一つである。唐草に花卉文を基本とし、そこに西洋の風景や人物、あるいは龍や獅子、象などの異国趣味に満ちた意匠が採られている。

本展では、京阿蘭陀と合わせて、19世紀に活躍した京都の陶工・仁阿弥道人(1783-1855)、尾形周平(1788-1839)などの阿蘭陀写の作例もご紹介し、異国趣味に満ちた不思議なやきものー京阿蘭陀に触れる機会となった。

- ・ 出品件数：18件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

■びいどろ・ぎやまん・ガラス

“涼”のガラス 5月19日(火)～6月21日(日)

内容／明治時代以降、西洋文化の流入とともに涼を彩る近代のガラス器である「氷コップ」「アイスクリームコップ」などを製造になるようになった。

本展では、夏本番の暑さを迎えるなかで、涼を彩る近代のガラス器に焦点をあてた。プレス成形のシンプルな器から、“あぶり出し”技法を用いて乳白色の意匠を施した器などを紹介した。

- ・ 出品件数：11件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

プレスガラス(1) 欧米のプレスガラス 7月4日(土)～8月16日(日)

内容／二つの型の間には溶けたガラスを流し込み、プレスして成形されたプレスガラス。1820年代のアメリカで型押し機が開発された後、その技術は瞬く間にイギリス、さらにはヨーロッパ各国へと伝わった。江戸後期から明治時代初めには既に日本にもたらされた作例を含めて、明治時代以降、日本におけるガラスの普及にも一役買った19世紀の欧米製プレスガラスを紹介した。

- ・ 出品件数：9件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

プレスガラス(2) 近代の日本製プレスガラス 8月18日(火)～9月22日(火・祝)

内容／プレスガラスの成形技法は、明治 12 年（1879）頃に日本初の官営ガラス工場として運営していた品川工作分局にもたらされた。その後、多種多様なプレス成形によるガラス器が製造されていたことは、現存する作例からもうかがえる。

本展示では、品川硝子製造所製と指摘されている作例をはじめ、明治時代から大正時代につくられた日本製プレスガラスを採りあげた。

- ・ 出品件数：9 件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

輸入ぎやまん 10月3日（土）～11月15日（日）

内容／江戸時代から明治時代前期にかけて日本にもたらされたヨーロッパ製のガラス＝輸入ぎやまんの作例を展示。当時の人々にとって、輸入ぎやまんが珍しく、貴重なものとして捉えられていたことを示すものとして、ガラス器を収める収納箱や箱に記された墨書の内容を紹介した。また、本展期間中に同時開催となった特別展「和のガラス」で出品していた日本製のぎやまん（切子）作例とは異なり、洗練された輝きを放つ輸入ぎやまんの魅力に触れる機会となった。

- ・ 出品件数：9 件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

あかり・ランプ 11月17日（火）～1月24日（日）

内容／明治 4 年（1871）に大阪、翌 5 年に横浜でガス灯が設置されたことを皮切りに、くらしの中の“あかり”の在り方も変わっていった。それに伴い、ガラス製造業においてオイルランプや火舎（ほや）など照明器具は主要な製品のひとつとなった。

本展では、明治時代から昭和時代前期までに製造されたガラス製の照明器具を採りあげるとともに、火舎や笠などに施された装飾技法についても紹介した。

- ・ 出品件数：9 件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

手彫り切子の名品 2月6日（土）～3月28日（日）

内容／日本では、江戸時代後期、19 世紀頃から始められたとされる切子。今日一般的にグラインダー状の工具を用いて加飾するのに対し、当時の切子は、水溶き金剛砂を用いて棒状工具で往復研磨して文様を刻む方法を取っていた。近年では、現在の切子と区別して“手彫り切子”の名称が提唱されている。本展示では、コレクションの中から、江戸時代から明治時代前期に製作された手彫り切子の作例を紹介した。

※本展では、コレクションの保存の観点から特別展「和のガラスーくらしを彩ったびいどろ、ぎやまん」（10月3日（土）～11月23日（月・祝））出品作品を除いて展示を構成した。

- ・ 出品件数：9 件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

■古地図

地図でみる世界 5月19日（火）～6月21日（日）

内容／江戸時代の日本は、いわゆる鎖国政策によって外国との交流が制限されていた。しかし、オランダや中国、朝鮮、琉球などの限られた国々を通してもたらされた新しい知識は、江戸時代の人々が思い描く世界のすがたに影響を与え、多種多様な世界図が作られるようになった。この展示では、江戸時代以前から続く伝統的な仏教系世界図から、18 世紀以降に登場する蘭学系世界図までを紹介した。

- ・ 出品件数：6件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

地図を作る人 長久保赤水 7月4日(土)～8月10日(月)

内容／長久保赤水(1717-1801)は常陸国多賀郡赤浜村(現茨城県高萩市)の農家に生まれ、幼いころから学問に励み、のちには水戸藩6代藩主徳川治保(1751-1805)の侍講を務めた学者。農民の生活の苦しさを上申したり、水戸藩の『大日本史』『地理誌』編纂事業に携わったり、広い分野で業績を残している。赤水の業績の中でもっともよく知られているものが、地図の製作である。日本図、中国図、世界図などを製作し、特に日本図は江戸時代後期を代表するベストセラーとなった。今回は、赤水の足跡の一部を紹介した。

- ・ 出品件数：8件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

鳥瞰図！ 8月13日(木)～9月22日(火・祝)

内容／空を飛ぶ鳥の目から見たかのように、地表景観を描いた俯瞰図を鳥瞰図という。江戸時代の鳥瞰図は、実際には見えない場所も見えるかのように描くなど、大胆なデフォルメがされているものが多く見られる。地形の正確さよりも、視覚的な楽しさや、わかりやすさが求められたのだろう。日本で鳥瞰図が盛んに描かれるようになったのは江戸時代後期といわれる。この展示では、葛飾北斎(1760-1849)や、鋏形蕙斎(1764-1824)、五雲亭貞秀(1807-79)など、江戸時代の鳥瞰図を語る上で欠かせない絵師たちの手になる作品を紹介した。

- ・ 出品件数：9件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

旅と名所 10月3日(土)～11月23日(月・祝)

内容／江戸時代は、街道の整備や娯楽の多様化によって、一般にも旅が普及したといわれている。人々の移動が盛んに行われるようになると、江戸と京を結ぶ東海道の道りを描いた絵図や、参詣客で賑わった高野山の案内図など、旅に関わるさまざまな絵図が作られ、出版文化の発展とともに広く流通し、人々に旅の情報を提供した。この展示では、街道の景観や訪れるべき場所を描いた絵図を展示した。

- ・ 出品件数：8件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

江戸時代の都市図 12月5日(土)～1月24日(日)

内容／江戸時代は江戸、大坂、京都の「三都」や城下町、湊町など、さまざまな都市が形成・発展した時代であった。これらの都市について描いた絵図を「都市図」という。参勤交代のために、仕事のために、あるいは物見遊山のために都市を訪れた人々が、こうした都市図を手にとったのだろう。地名や町割など、現代とのつながりを見出すことができる都市図を紹介した。

- ・ 出品件数：9件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

地図皿ざらり 2月6日(土)～3月28日(日)

内容／地図皿とは、地図の意匠があしらわれた皿のこと。その始まりは宝暦年間(1751-64)に平賀源内(1728-80)が指導して作られたとされる源内焼といわれる。その後、天保年間(1830-44)になると、肥前国有田で伊万里焼の地図皿が作られるようになった。こうした地図皿は、もともと、武士が出世を願ったハレの場で使われたと考えられている。

る。地図皿に描かれる世界や日本の姿は、いまの私たちからすると、奇妙に見えるが、長人国、小人国、女人国などの空想上の国は、地図皿だけでなく、当時の刊行物にもみることができ、身近な存在であった。当館が所蔵する地図皿を並べた。

- ・ 出品件数：10件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

■考古・歴史

神戸のお経—よみがえる古の祈り 7月4日（土）～9月22日（火・祝）

内容／神戸とその近郊に伝来した、日本、中国、朝鮮半島で制作された経典を展示し、古の人々の息吹を浮き彫りにした。

※会期中展示替を実施。

[前期] 7月4日（土）～8月10日（月・祝）

[後期] 8月13日（木）～9月22日（火・祝）

- ・ 出品件数：10件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

古墳時代の造形 9月29日（火）～11月23日（月・祝）

内容／古墳時代には、大いなる権力をもつ王（オウ）が各地で生まれた。オウの死にあたって、日本独自の形を採用した「前方後円墳」と呼ばれる巨大な墓（古墳）が築かれ、古墳の大きさはオウの権力の強さを示すものであったと考えられる。オウが眠る棺の内外には豪華な品々が供えられ、これらは死後の世界でのオウのくらしを守るものとみられる。今回はオウの死後を装った威信材など、古墳時代の造形の数々を紹介した。

- ・ 出品件数：15件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

建築物の設計と意匠 12月5日（土）～1月24日（日）

内容／建造物そのものの評価を再認識し、その魅力を改めて発見するきっかけとなることを目的に、神戸市中央区に現存する歴史的建造物のうち、当館に縁の深い設計者が手掛けた設計図面を展示した。

- ・ 出品件数：7件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

神戸と“清盛さん” 2月6日（土）～3月28日（日）

内容：平安時代の末頃、日本初の武家政権（平氏政権）を打ち立てたとされる平家の棟梁、平清盛（1118-81）。この人物のイメージは「おごる平家は久しからず」などの言葉に象徴されるように、決して良いものではない一方で、日宋貿易の拠点として大輪田泊を整備し、福原に別荘地を建てるなど、神戸ではゆかりの人物として親しまれている。同時開催の企画展「神戸源平巡り—『平家物語』の舞台を訪ねて—」の関連展示として、清盛はどのように歴史上捉えられ、神戸で受け止められてきたのか館蔵資料を通じて紹介した。

- ・ 出品件数：8件 ※展示作品リストは[当館ホームページ](#)に掲載

3. 普及事業
(1) 一般向け事業

①展覧会に関する一般向け事業
●「コートールド美術館展 魅惑の印象派」
※新型コロナウイルス感染症拡大防止にともない、展覧会中止

●「兵庫の書展 兵庫県書作家協会創立 70 周年記念－2020 令和からの発信－」
※新型コロナウイルス感染症拡大防止にともない、展覧会中止

●「和のガラスー暮らしを彩ったびいどろ、ぎやまんー」			
1. 記念講演会			
月 日	内容	講 師	参加者
10月4日	「和のびいどろ、ぎやまん」	中山 創太	15人
11月8日	「和のびいどろ、ぎやまん」	中山 創太	26人
2. 講座			
月 日	内容	講 師	参加者
10月18日	「和ガラスに親しむ」	中山 創太	5人
11月15日	「和ガラスに親しむ」	中山 創太	5人
5. イブニングレクチャー			
月 日	内容	講 師	参加者
毎週土曜	展覧会の見どころ解説（全8回開催）	当館学芸員	95人

●「ボストン美術館展 芸術×力」
※新型コロナウイルス感染症拡大防止にともない、展覧会中止

●「つなぐ TSUNAGU－THE POWER OF KOBE CITY MUSEUM－」			
1. 特別講演会			
月 日	内容	講 師	参加者
12月13日	「図様で「つながる」絵画」	馬淵 美帆氏（神戸市外国語大学教授）	31人
2. 「学芸員が語る 博物館と阪神淡路大震災」			
月 日	内容	講 師	参加者
1月17日	「震災を体験した学芸員が語るこれからの博物館」（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止）	当館学芸員	－
3. イブニングレクチャー			
月 日	内容	講 師	参加者
毎週土曜	展覧会の見どころ解説（全7回開催、2回新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止）	当館学芸員	51人

4. 記念講演会「極私的つなぐ展@学芸員！」			
月 日	内容	講 師	参加者
12月6日	「人とモノのつながりー弥生時代の地域間交流ー」	阿部 功	11人
12月27日	「地上と異界をつなぐ物語『竜宮(月王・乙姫物語)』を読む」	水嶋 彩乃	20人
1月10日	「可視と不可視の狭間」	川野 憲一	29人
1月24日	「絵から絵が生まれる」(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止)	石沢 俊	ー

●「和田岬砲台史跡指定100年記念 大阪湾の防備と台場展」			
1. 記念講演会			
月 日	内容	講 師	参加者
3月14日	「畿内・近国の社会と幕末の台場築造」	高久 智広	40人
2. ワンポイント解説会			
月 日	内容	講 師	参加者
毎週金曜	展覧会の見どころ解説(全5回開催、2回新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止)	当館学芸員	37人

●「神戸源平巡りー『平家物語』の舞台を訪ねてー」			
1. 記念講演会			
月 日	内容	講 師	参加者
3月14日	「神戸に遺された源平物語」	三好 俊	40人
2. ワンポイント解説会			
月 日	内容	講 師	参加者
3月12日	展覧会の見どころ解説(全2回開催 1回新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止)	当館学芸員	10人

②ミュージアム講座(第25回)			
月 日	タイトル	講 師	参加者
10月15日	和のガラスーびいどろ・ぎやまんの魅力ー	中山 創太	37人
11月19日	「日本」へのまなざしー世界と繋がる着色写真ー	水嶋 彩乃	36人
12月17日	兵庫勤番文書の世界	高久 智広	32人

③「学芸員と神戸を巡る(事前学習と現地見学)」			
月 日	タイトル	講 師	参加者
10月10日・24日	福原の都と清盛ー栄華の跡を歩くー	谷 正俊・山本 雅和・阿部 功	計26人

④「博物館をたのしむ」		
月 日	内 容	参加者
6月13日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	—

(2) 子供向け事業・学校との連携事業

①ジュニアミュージアム講座		
月 日	内 容	参加者
4月26日	手作りチューブ入り絵の具コースター (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止)	—
6月6日	印象派で作る砂絵コースター (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止)	—
10月25日	《ガラスの器に描く薩摩切子の模様》 薩摩切子の模様について学びながら、ガラス用ルーターを用いてガラス皿に模様をつける体験	6人
12月20日	《うつわをつなごう！金つぎ？体験》 金紛や漆の代用品として、真鍮粉や食器用ボンドなどを用いて、割れた陶器を金継ぎで修復する体験。	4人

②こうべ歴史たんけん隊		
月 日	内 容	参加者
3月13日	《和田岬砲台に入りホーダイ！》 江戸末期に建設された和田岬砲台の内部を、学芸員の解説を交えながら探検。	4人

③親子鑑賞会		
月 日	内 容	参加者
5月5日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	—

④夏休み土器づくり教室		
月 日	内 容	参加者
7月25日・26日 8月8日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	—

⑤博物館たんけん隊		
月 日	内 容	参加者
8月1日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	—

⑥学校授業への職員派遣	
年間	62校(幼保1、小60、中1)100回 288時間(幼保1、小227、中8)7,879人

⑦移動博物館車「おきしお夢はこぶ号」の活動	
年間	学校 4校5回 地域イベント 0か所(神戸まつりなど中止)

⑧トライやる・ウィーク(職場体験)		
月 日	内 容	参加者
6月・11月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	—

(3) 学習支援交流員活動

市民参画を進める開かれた博物館とするため、平成20年度より導入した「学習支援交流員」は「博物館の基本方針にしたがって、参加しようとする者の興味・経験・知識・技能など活かしながら市民と交流し、学習支援などを行う来館者サービスを通して、社会に貢献しようとする者」と規定している。活動は業務請負型ではなく、事業創出型を原則とし、参加者同士の交流や生涯学習の促進をはかることも目的としている。

令和2年度年間活動回数・活動参加者総合計(延べ人数)

実施回数 42回 参加交流員総数 488人

学習支援交流員の活動(定例会・研修・活動人数)			
内 容		実施回数	参加交流員
定例会・研修など	定例会	6回	151人
	登録および登録更新にかかる研修会 第1回「人権研修」(2/14) 第2回「学習支援交流員の活動」(2/21)	2回	54人
	外部依頼による研修	0回	0人
博物館事業支援	特別展関連行事支援(開会式・講演会等)	6回	14人

	体験講座・ワークショップ等補助	0回	0人
	ミュージアム講座 資料配布、来場者誘導などの補助	3回	8人
	その他講座 資料配布、来場者誘導などの補助	1回	2人
	トライやる・ウィーク等の学習支援	0回	0人
	博物館実習等の支援	0回	0人
	アンケート集計・広報印刷物発送作業	3回	21人

学習支援交流員による講座・ワークショップ				
内 容		実施回数	参加交流員	一般参加者
企画検討など	自主企画・運営ワークショップ検討会・勉強会等	21回	238人	
ワークショップ企画運営	学習支援交流員 自主企画・運営ワークショップ	0回	0人	0人
来館対応	学校団体来館対応(体験学習室でのワークショップ)	0回	0人	0人
	一般来館対応(体験学習室でのワークショップ)	0回	0人	0人

(4) 共催・協力事業

●神戸いきいき勤労財団との連携事業			
月 日	タイトル	講 師	参加者
10月10日	和（なごみ）のガラス びいどろ、ぎやまんの魅力	中山 創太	31人
3月4日	大阪湾の防備と台場	高久 智広	53人
●神戸市文化振興財団との連携事業による文化センター地域セミナー			
月 日	タイトル	講 師	参加者
11月20日	江戸時代の兵庫津 一支配と治安維持から考える一	高久 智広	20人
11月28日	近代神戸と楠木正成の記念事業	水嶋 彩乃	15人
1月14日	垂水の仏、神戸のほとけ	川野 憲一	15人
1月23日	神戸源平巡り	三好 俊	36人
2月11日	チョコレートで作る卑弥呼の鏡	—	中止
2月20日	彩色写真に見る明治期の日本・神戸	水嶋 彩乃	19人
●婦人大学との連携事業			
月 日	タイトル	講 師	参加者
12月11日	平清盛とその時代—福原京を中心として—	谷 正俊	44人

5. 刊行物	
(1) 館蔵品目録	
美術の部 No.36 浮世絵版画総インデックス 9 補遺・合作	250 円
考古・歴史の部 No.36 写真・絵葉書IX	250 円

(2) 研究紀要	
No.36	600 円
塚原 晃「騒擾のオランダ 幕末京都で描かれた再洗礼派蜂起と八十年戦争」	
谷 正俊「神戸市内出土の土鍾についてー古墳時代から鎌倉時代までー」	
阿部 功、山本雅和「三木市広野古墳群出土の資料をめぐって ー中谷新吉氏の調査報告と押部谷中学校所蔵の考古資料ー」	

(3) 年報	
No.36	PDF 版 HP 上で公開

(4) 博物館だより	
No.118	令和 2 年 10 月 6 日
No.119	令和 3 年 3 月 19 日

収蔵資料

1. 指定文化財一覧					
指定区分	指定年月日	指定番号	資料名称	員数	時代
国宝	昭和 45 年 5 月 25 日	考第 34 号	桜ヶ丘銅鐸・銅戈群 (袈裟褌文銅鐸、袈裟褌文銅鐸、銅鐸、流水文銅鐸、銅戈)	21 口	弥生時代中期
重要文化財	昭和 28 年 3 月 31 日	絵第 1257 号	紙本金地著色泰西王侯騎馬図 (ノ四曲屏風)	4 曲 1 隻	江戸時代初期
重要文化財	昭和 32 年 2 月 19 日	絵第 1390 号	絹本著色織田信長像 (古溪宗陳賛)	1 幅	桃山時代 天正 11 年 (1583) 賛
重要文化財	昭和 43 年 4 月 25 日	絵第 1625 号	紙本著色四都図・世界図 (ノ八曲屏風)	8 曲 1 双	江戸時代初期
重要文化財 (附指定)	昭和 45 年 6 月 17 日 (昭和 56 年 6 月 5 日)	建第 1771 号	旧小寺家廐舎設計図他	68 点	明治 43 年 (1910) ※旧小寺家廐舎の付属指定
重要文化財	平成 7 年 6 月 15 日	絵第 1938 号	紙本金地著色南蛮人渡来図 (狩野内膳筆ノ六曲屏風)	6 曲 1 双	桃山時代
重要文化財	平成 9 年 6 月 30 日	絵第 1957 号	絹本著色相州鎌倉七里浜図 (司馬江漢筆ノ二曲屏風)	2 曲 1 隻	江戸時代 寛政 8 年 (1796)
重要文化財	平成 12 年 6 月 27 日	絵第 1974 号	紙本著色フランシスコ・ザビエル像	1 面	江戸時代初期
重要美術品	昭和 9 年 9 月 1 日		西洋二武人図・師父二童子	2 面	江戸時代初期
重要美術品	昭和 23 年 4 月 27 日		伝福岡県内経塚出土遺物	10 点	平安時代ノ永久 5 年 (1117)
登録文化財	平成 10 年 9 月 2 日	第 28-0026 号	神戸市立博物館 (旧横浜正金銀行神戸支店)	1 棟	昭和 10 年 (1935)
市指定文化財	平成 21 年 2 月 24 日	工芸品	南蛮人桜花文蒔絵鞍	1 背	安土桃山時代
市指定文化財	平成 26 年 3 月 25 日	工芸品	銅製経箱	1 合	鎌倉時代後期
市指定文化財	平成 26 年 3 月 25 日	書跡・古文書	和田岬・湊川砲台 (台場) 関係資料	1 件 (絵図 10 点・文書 14 点)	江戸時代末期
市指定文化財	平成 29 年 3 月 21 日	歴史資料	神戸外国人居留地計画図	1 幅	明治 5 年 (1872)

2. 受贈資料				
分類	資料名	制作時期	員数	寄贈者
歴史	観艦式パノラマ写真	昭和5年 (1930)	1点	藤田 紘一
美術	別車博覧 作品ポジ	近代	1件 190点	伊勢上 仁子

3. 購入資料				
分類	資料名	制作時期	員数	購入先
地図	従高野山奥院慈尊院迫路徑之図	江戸時代、17世紀	1点	訪古堂
歴史	摂津国菟原郡石屋村文書	享保年間(1716-1736)～明治時代(1868-1912)	1件 54点	中尾松泉堂書店
美術	西銘書巻	元文4年(1739)	1巻	山添天香堂
歴史	有馬山紀行	正徳3年(1713)	1点	衆星堂
歴史	有馬日記	江戸時代末期	1点	衆星堂
歴史	有馬の秋	弘化4年(1847)	1点	衆星堂
歴史	有馬懐鑑	延宝8年(1680) カ	1点	衆星堂
歴史	第一回神戸みなとの祭ポスター(複製)	令和2年(2021)	1点	大入
歴史	第一回みなとの祭国際大舞踏会ポスター(複製)	令和2年(2021)	1点	大入
歴史	日本輪業のタイヤ ポスター(複製)	令和2年(2021)	1点	大入
歴史	開業ポスター 自営 神戸マーケット(複製)	令和2年(2021)	1点	大入

4. 資料補修				
分類	資料名	制作年	員数	補修内容
考古	石峯寺経塚出土 銅板製鍍金経筒	平安時代末期	1点	保存処理
美術	喜多道矩筆「隠元倚騎獅像」など 故宮展出品掛軸・卷子		掛軸 4点、 卷子 3点	牙軸・紫檀軸及び軸木復旧
美術	灘江月明タペストリー	昭和56年 (1981)	1点	クリーニング、防炎処理加工
美術	トムセン邸 家具		1点	クリーニング、ポリッシュ
美術	引札「加賀屋九兵衛」「田中屋平	江戸時代、19	3点	ブックマット製作

	右衛門「宮垣秀次郎」	世紀		
地図	「日本鳥瞰図」など コレクション展示室展示資料	江戸時代、19 世紀	6点	ブックマット製作
美術	別車博覧《神戸港》など 近代美術作品			額縁補修、新調
美術・ 歴史	歴史資料、近代美術、工芸品 保 存箱製作など			アーカイバルボード保存 箱、木箱製作

5. 資料の利用

(1) 特別利用 館外貸出

5箇所 64件 64点

貸出先(会場)	展覧会名	会期	点数	貸出資料
神戸ゆかりの美術館	企画展「生誕120年別車博覧 ～ゆかりの人々とともに～」	R2.05.19- 07.26	55件 55点	「風景」、「省線線路」、「坂のある風景」、 「神戸山手風景」、「鯉川筋」、「神戸画廊旧栄 町風景」、「海岸通」、「海洋气象台」、「汽 船」、「三宮風景」、「海岸通の冬」、「メリケ ン波止場」、「道頓堀川」、「港祭の日」、「神 戸港暮色」、「海岸通(A)」、「海岸通 (B)」、「海岸通(C)」、「画室にて」、 「播州宍粟風景」、「竹林のほとり」「一ノ谷風 景(旧須磨一ノ谷)」、「神戸の街工場街展望 の流し」、「初秋・宍粟の農家」、「雪の朝・中突 堤」、「灯ともし頃(神戸港)」、「秋の鶴林 寺」、「錦江暮色(明石)」、「白い蒸気(千葉 風景)」、「神戸港風景」、「クレセントビル (神戸)」、「神戸京橋」、「神戸風景(県庁 前)」、「フィレンツェ ホテル・アストリアに てローテンプルグ」、「ヴェギス村(スイ ス)」、「トレド」、「セーナに釣る」、「セン ダンの並木道」、「須磨彩雲」、「彩雲 兵庫運 河」、「九十九里浜」、「秋のいなみの(東播磨 加古川)」、「諏訪山から神戸港を望む」、「嵐 山風景」、「姥子温泉(箱根)」、「箱根風 景」、「太山寺晩秋」、「大山の秋」、「石の宝 殿」、「海に見える風景(須磨)」、「竹林のあ る村の風景」、「赤絵皿の上の果実」 ※作者は、すべて別車博覧
国立新美術館	「古典×現代 2020—時空を超 える日本のアート」	R02.06.24- 08.24 ※新型コロナ	3件 3点	鶴洲「木蓮に吠々鳥図」、森蘭斎「桃に瑠璃蝶図」、 森蘭斎筆・梁田象水賛「牡丹図」

		ナ・ウイルス感染症のため会期変更		
佐賀県文化課文化財保護室（吉野ヶ里歴史公園内「弥生くらし館」	令和2年度特別企画展『よみがえる邪馬台国』	R02.09.19-11.08	2件2点	国宝 桜ヶ丘4号銅鐸（複製）、国宝 桜ヶ丘6号銅鐸（複製）
東京国立博物館	特別展「桃山一天下人の100年」	R02.10.06-11.29 ※「聖フランシスコ・ザビエル像」のみ R02.09.15～10.30まで展示	3件3点	重要文化財「聖フランシスコ・ザビエル像」、重要文化財「泰西王侯騎馬図屏風」、「南蛮人洋犬蒔絵硯箱」

(2) 特別利用 館外貸出以外

許可件数	19件 308点		
		件数	点数
利用区分	(1) 熟覧	19	308
	(2) 模写	0	0
	(3) 模造	0	0
	(4) 撮影	18	307
	(5) その他	3	79

※利用区分の件数点数は重複がある。

(3) 画像利用

承諾件数	169件 441点		
利用区分		件数	点数
	(ア)	46	75
	(イ)	25	58
	(ウ)	38	107
	(エ)	57	198
	(オ)	3	3

(ア)	国、地方公共団体が公共の目的でその事業の用途として利用するため申請するとき。
(イ)	学校教育法第1条に規定する学校（大学は除く。）の教科書、学校（大

	学は除く。)が作成する教材の用途として利用するとき。
(ウ)	博物館が調査研究、展示、広報等の用途として利用するため申請するとき。
(エ)	営利を目的としない個人、団体が、営利を目的としない学術書(発行部数1,000部以下)、又は学術雑誌、調査報告書等もっぱら学術研究の用途として利用するとき。
(オ)	その他、神戸市教育委員会が特に必要と認める利用のとき。

(4) 画像提供業務委託

平成26年10月1日より、3)画像利用に該当しない当館収蔵品の画像掲載・放送等については画像提供業務として外部委託している(委託先:株式会社DNPアートコミュニケーションズ)。

申込件数	431件 729点
------	-----------

入館者数

1. 年間入館者数		
開館日数	全 体	233 日
	特別展	119 日
入館者数	総入館者数	44,619 人
	コレクション展示	10,101 人
	特別展	16,747 人
1 日平均	総入館者数	191 人
	コレクション展示	43 人
	特別展	141 人

2. 年齢層・階層別												
コレクション展示												
月	開館 日数	入場者数合 計	一 般	大学生	高校生	小中生	シルバー	小 計	公用他	総入館者 数		
4	7	23	17	1	0	0	0	18	5	238		
5	12	321	216	11	4	11	33	275	46	1,014		
6	18	543	388	29	5	23	41	486	57	1,811		
7	24	937	691	71	16	48	40	866	71	2,784		
8	25	1,176	817	86	15	81	29	1,028	148	3,257		
9	20	837	591	97	9	50	16	763	74	2,930		
10	25	1,070	664	75	35	44	94	912	158	7,801		
11	20	2,598	1,972	101	54	156	128	2,411	187	8,465		
12	20	529	339	40	5	68	28	480	49	3,826		
1	18	345	213	20	7	20	48	308	37	3,152		
2	20	627	373	31	32	104	36	576	51	3,498		
3	24	1,095	404	77	31	462	61	1,035	60	5,843		
計	233	10,101	6,685	639	213	1,067	554	9,158	943	44,619		
特別展												
月	開館 日数	入 場 者 数合計	一 般	大 学 生	高 校 生	小 中 生	シル バー	未就 学児	障 害 者	小 計	公 用 他	総入館 者数
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	22	4,267	3,133	129	82	100	463	22	306	4,235	32	7,801
11	20	4,522	3,506	160	41	149	323	32	287	4,498	24	8,465
12	20	1,670	1,275	110	21	58	80	7	101	1,652	18	3,826
1	18	1,776	1,508	43	14	55	58	6	82	1,766	10	3,152
2	20	1,639	1,150	64	47	114	114	12	116	1,617	22	3,498
3	19	2,873	1,851	109	74	496	153	22	152	2,857	16	5,843
計	119	16,747	12,423	615	279	972	1,191	101	1,044	16,625	122	44,619

3. 特別展

展覧会名		和のガラス		つなぐ		
会 期		10/3～11/23		12/5～1/24		
開催日数		45 日間		38 日間		
		入場料	入場者数	入場料	入場者数	
有 料	一 般	個人	1,000 円	4,016	1,000 円	895
		団体	800 円	739	800 円	108
		前売	800 円	73	—	0
		計	—	4,828	—	1,003
	大 学 生	個人	500 円	252	500 円	152
		団体	400 円	37	400 円	1
		前売	400 円	0	—	0
		計	—	289	—	153
	シルバー	500 円	786	500 円	138	
	MC	—	215	—	136	
小 計	—	6,118	—	1,430		
無 料	高校生	—	123	—	35	
	小中生	—	249	—	113	
	未就学児	—	54	—	13	
	障害者	—	593	—	183	
	その他	—	1,652	—	1,672	
	小 計	—	2,671	—	2,016	
合 計			8,789		3,446	
1 日 平 均			195		91	

展覧会名		大阪湾の防備と台場		
会 期		2/6～3/28		
開催日数		39 日間		
		入場料	入場者数	
有 料	一 般	個人	1,000 円	1,570
		団体	800 円	246
		前売	—	0
		計	—	1,816
	大 学 生	個人	500 円	168
		団体	400 円	3
		前売	—	0
		計	—	171
		シルバー	円	267
		MC	—	183
	小 計	—	2,437	
無 料	高校生	—	121	
	小中生	—	610	
	未就学児	—	34	
	障害者	—	268	
	その他	—	1,042	
	小 計	—	2,075	
合 計			4,512	
1 日 平 均			116	

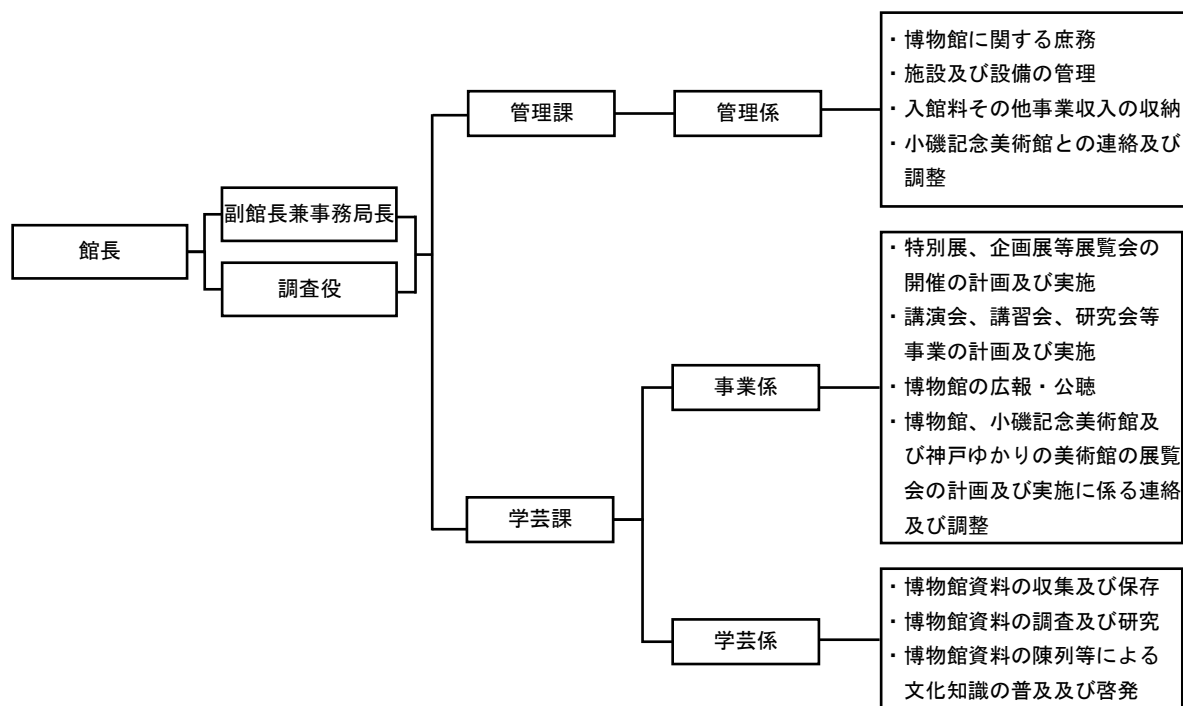
予 算

	(単位：千円)
常設展	4,761
普及事業関連	3,924
調査研究・館蔵品等整備	13,365
管理運営	103,090
特別展開催	242,461
企画展開催	300
地域と協働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業	9,000
合 計	376,901

博物館協議会

会 長		
藤岡 穰	大阪大学大学院文学研究科教授	(学識経験)
副 会 長		
原田 正俊	関西大学文学部教授	(学識経験)
委 員		
森 広樹	神戸市西須磨小学校 (小学校長)	(学校教育)
渡邊 研	神戸市立高取台中学校 (中学校長)	(学校教育)
高尾 ひろ子	神戸市婦人団体協議会副会長	(社会教育・市民代表)
井上 優	特定非営利活動法人こうべユースネット副理事長兼 財務担当	(社会教育・市民代表)
奥村 比左人	神戸労働者福祉協議会副会長	(社会教育・市民代表)
栗林 直美	神戸市ネットモニター	(社会教育・家庭教育・ 市民代表)
戸田 清子	奈良県立大学地域創造学部教授	(学識経験)
黒田 千晴	神戸大学国際連携推進機構 国際教育総合センター 准教授	(学識経験)
禰亙田 佳男	大阪府立弥生文化博物館館長	(学識経験)
馬淵 美帆	神戸市外国語大学外国語学部教授	(学識経験)
内海 芳宏	旧居留地連絡協議会 はいからプロジェクト実行委員会会長	(地域団体)

組織 ・ 職員



職員	(令和3年3月31日現在)				
館長	大谷 幸正	学芸課			
		学芸課長	小野田 一幸		
副館長兼事務局長	雲丹亀 章	担当課長 (学芸係長事務取扱)	山本 雅和		
調査役	桜間 裕章				
		事業係		学芸係	
管理課		事業係長	高久 智広	学芸員	辻 智美
管理課長	三宅 聡	担当係長	塚原 晃	〃	中山 創太
管理係長	大石 敏雄	指導主事	山中 馨	〃	三好 俊
事務職員	雑喉 丈朗	〃	田頭 竜志		
〃	石中 安佐子	学芸員	谷 正俊		
		〃	阿部 功		
		〃	川野 憲一		
		〃	石沢 俊		
		〃	永山 未沙希		
		〃	水嶋 彩乃		

令和 2.4.1 桜間 裕章（調査役）就任、雲丹亀 章（副館長兼事務局長）都市局より転入、
三宅 聡（管理課長）教育委員会事務局より転入

令和 2.5.21 福本 憲一（事務職員）須磨区北須磨支所に転出、
雑喉 丈朗（事務職員）建築住宅局より転入

令和 3.3.31 谷 正俊（学芸員）定年退職
高久 智広（事業係長）退職

神戸市立博物館年報 No.37

—令和2年度—

発行年月日 令和5年3月8日

編集・発行 神戸市立博物館

〒650-0034 神戸市中央区京町24番地

TEL : 078-391-0035

FAX : 078-392-7054